

会 告 目 次

目次	1
IPSJ カレンダー	2
反井記念特別賞候補者の募集について	6
研究発表会開催通知	7
第3回モバイルコンピューティング研究会	7
第19回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	7
第119回計算機アーキテクチャ研究会	} 合同研究会
第86回設計自動化研究会	
第19回音声言語情報処理研究会	8
第69回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	9
第23回音楽情報科学研究会	9
第66回情報システム研究会	11
第88回グラフィクスとCAD研究会	11
第46回コンピュータと教育研究会	11
情報処理学会「行事」申込書	14
連続セミナー'97」参加者募集	15
情報メディアシンポジウム'97」参加者募集	16
人工生命とその応用シンポジウム」参加者募集	17
アドバンスト・データベース・シンポジウム'97」参加者募集	18
1998年情報学シンポジウム」参加者募集	20
利用者指向の情報システムシンポジウム」参加者募集	21
第4回アジア太平洋ソフトウェア工学国際会議 (APSEC'97) 参加募集	22
電子博物館シンポジウム (Symposium on Digital Museums) 参加者募集	23
第7回「基礎研究の振興と科学技術教育」シンポジウム	23
第39回プログラミング・シンポジウム」参加者募集	24
第39回プログラミング・シンポジウム」参加申込書	26
画像の認識・理解シンポジウム (MIRU'98)」論文募集	27
情報処理学会第56回全国大会の案内 (1)	27
情報処理学会論文誌「マルチメディア通信と分散処理」特集への論文投稿のご案内	28
情報処理学会「書籍」申込書	29
「料会告について	30
「員の皆様へのお知らせ・お願い	31
「外からの送金方法について	32
「5回全国大会講演論文集 CD-ROM 版のお詫び	40
「部だより	33
「報	34
「材募集	36
「議案内	28, 35

IPSJ カレンダー

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
第 36 回人文科学とコンピュータ研究会	国際日本文化研究センター	平成 9 年 11 月 15 日 (土)	当日のみ	38-10 9p	研
第 122 回自然言語処理研究会	福岡大	11 月 20 日 (木) ～ 21 日 (金)	当日のみ	38-10 9p	研
第 117 回ソフトウェア工学研究会	情報処理学会	11 月 21 日 (金)	当日のみ	38-10 10p	研
第 8 回分散システム運用技術研究会	佐賀大	11 月 21 日 (金)	当日のみ	38-10 11p	研
第 16 回プログラミング研究会	会津大	11 月 21 日 (金)	当日のみ	38-10 11p	研
第 16 回数理モデル化と問題解決研究会	筑波大	11 月 21 日 (金)	当日のみ	38-10 12p	研
第 108 回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	宇都宮大	11 月 27 日 (木)	当日のみ	38-10 12p	研
第 59 回アルゴリズム研究会	新潟工科大	11 月 28 日 (金)	当日のみ	38-10 13p	研
第 10 回デジタル・ドキュメント研究会	近畿ニューメディア推進協議会	11 月 28 日 (金)	当日のみ	38-10 13p	研
第 3 回モバイルコンピューティング研究会	倉敷技術科学大	12 月 4 日 (木) ～ 5 日 (金)	当日のみ	38-11 7p	研
連続セミナー 97 ネットワークとセキュリティ	工学院大	12 月 5 日 (金)	定員になり次第	38-11 15p	事
第 19 回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	早大	12 月 5 日 (金)	当日のみ	38-11 7p	研
情報メディアシンポジウム '97	工学院大	12 月 9 日 (火) ～ 10 日 (水)	11 月 25 日 (火)	38-11 16p	研
第 119 回計算機アーキテクチャ研究会	阪大	12 月 11 日 (木)	当日のみ	38-11 8p	研
第 86 回設計自動化研究会	阪大	12 月 11 日 (木)	当日のみ	38-11 8p	研
第 19 回音声言語情報処理研究会	NTT 横須賀	12 月 11 日 (木) ～ 12 日 (金)	当日のみ	38-11 8p	研
第 69 回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	慶大	12 月 12 日 (金)	当日のみ	38-11 9p	研
第 23 回音楽情報科学研究会	NTT / 慶大	12 月 13 日 (土) ～ 16 日 (火)	当日のみ	38-11 9p	研
人工生命とその応用シンポジウム	東京農工大	12 月 15 日 (月) ～ 16 日 (火)	12 月 1 日 (月)	38-11 17p	研
アドバンスト・データベース・シンポジウム '97	工学院大	12 月 15 日 (月) ～ 17 日 (水)	12 月 5 日 (金)	38-11 18p	研
第 66 回情報システム研究会	情報処理学会	12 月 17 日 (水)	当日のみ	38-11 11p	研
第 88 回グラフィクスと CAD 研究会	東京電機大	12 月 18 日 (木)	当日のみ	38-11 11p	研

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
電子博物館シンポジウム	国立民族学博物館	12月18日(木) ～19日(金)	12月8日(月)	38-11 23p	研
第46回コンピュータと教育研究会	宮城大	12月19日(金)	当日のみ	38-11 11p	研
第39回プログラミング・シンポジウム	箱根ホテル小涌園	平成10年 1月7日(水) ～9日(金)	11月28日(金)	38-11 24p	事
1998年情報学シンポジウム	日本学術会議講堂	1月13日(火) ～14日(水)	12月24日(水)	38-11 20p	研
連続セミナー 97 デジタル図書館	工学院大	1月19日(月)	定員になり次第	38-11 15p	事
ウィンターワークショップ・イン・恵那	恵那峡国際ホテル	1月22日(木) ～23日(金)		38-10 23p	研
利用者指向の情報システムシンポジウム	東洋大	1月23日(金)	12月26日(金)	38-11 21p	研
デジタル・ドキュメント・シンポジウム '98	工学院大	1月30日(金)	10月15日(水)	38-9 24p	研
分散システム運用技術シンポジウム '98	東工大	2月5日(木) ～6日(金)	10月20日(月)	38-9 25p	研
情報処理学会第56回全国大会	中大	3月17日(火) ～19日(木)		38-11 27p	事
連続セミナー 97 データウェアハウス	工学院大	3月24日(火)	定員になり次第	38-11 15p	事
坂井記念特別賞候補者の募集	-	-	平成10年 1月16日(金)	38-11 6p	総

【国際会議】

行事名	会場名	開催日	照会先	掲載ページ	担当
第4回アジア太平洋ソフトウェア工学国際会議 (APSEC'97)	Royal Plaza Hotel, Hong Kong	平成9年 12月2日(火) ～5日(月)	事務局	38-11 22p	国
ISAAC '97	シンガポール	12月17日(日) ～19日(土)	事務局	38-4 37p	国
The 12th International Conference on Information Networking (ICOIN-12)	Communications Research Laboratory	平成10年 1月21日(水) ～23日(金)	事務局	-	国
Asia and South Pacific Design Automation Conference 1998 (ASP-DAC '98)	横浜パシフィコ	2月10日(火) ～13日(金)	事務局	-	国
第2回ワールドワイドコンピューティング (WWCA '98)	つくば市	3月2日(月) ～5日(木)	事務局	38-9 28p	国
The IEEE Third International Conference on Automatic Face and Gesture Recognition (FG '98)	Big Roof (奈良)	4月14日(火) ～16日(木)		38-8 21p	研

行事名	会場名	開催日	照会先	掲載ページ	担当
9th Int'l Workshop on Software Specification and Design (IWSSD-9)	伊勢志摩ロイヤルホテル	4月16日(木) ～18日(土)		38-10 25p	研
International Conference on Software Engineering (ICSE 98)	京都国際会館	4月19日(日) ～25日(土)	事務局	38-4 38p	国
Int'l Symposium on Object-oriented Real-time distributed Computing (ISORC '98)		4月20日(月) ～22日(水)		38-10 25p	研

【論文募集】

行事名	会場名	開催日	論文(応募)締切	掲載ページ	担当
インタラクシオン '98	東大	3月3日(火) ～4日(水)	平成10年 1月9日(金)	38-9 26p	研
情報処理学会第56回全国大会	中大	3月17日(火) ～19日(水)	平成9年 12月5日(金)	38-9 12p	事
アルゴリズム特許の現状と問題点シンポジウム	東京農工大	3月24日(火)	12月26日(金)	38-10 24p	研
Int'l Workshop on Aspect-Oriented Programming		4月20日(月)	12月15日(月)	38-10 25p	研
Software Engineering on Parallel and Distributed systems (PDSE '98)		4月20日(月) ～21日(火)	12月12日(金)	38-10 25p	研
1998年並列処理シンポジウム JSPP '98	名古屋国際会議場	6月3日(水) ～5日(金)	12月15日(月)	38-10 26p	研
Asia Pacific Computer Human Interaction 1998 (APCHI '98)	Shonan Village Center	7月15日(水) ～17日(金)	平成10年 1月31日(土)	38-9 29p	国
画像の認識・理解シンポジウム (MIRU '98)	岐阜市未来会館	7月29日(水) ～31日(金)	平成10年 1月17日(土)	38-11 27p	研
論文誌特集号 「分散協調支援とその応用」			平成10年 2月28日(土)	38-10 27p	編
論文誌特集号 「マルチメディア通信と分散処理」			平成10年 5月1日(金)	38-11 28p	編

【支部】

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
北陸支部 講演会	福井工専	11月17日(月)		38-10 31p	陸
四国支部 講演会	愛媛大	11月18日(火)		38-11 33p	四
東海支部 講演会	名古屋工大	11月21日(金)		38-10 31p	海

行 事 名	会 場 名	開 催 日	参加締切	掲載 ページ	担当
関西支部 平成9年度電気関係学会関西支部 連合大会	関西大	11月23日(日) ～24日(月)	—	38-9 39p	西
九州支部 シンポジウム「ソフトウェアデー タベースの研究」	九大	平成10年 1月13日(火)		38-11 33p	九
北陸支部 講演会	金沢大	1月23日(金)		38-11 33p	陸

注1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。

注2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号に掲載されています。

注3) 担当欄の記号は次のとおりです。研:研究会係, 事:事業係, 国:国際係, 編:編集係, 総:総務係, 経:経理係, 会:会員係,
規:情報規格調査会, 北:北海道支部, 東:東北支部, 海:東海支部, 陸:北陸支部, 西:関西支部, 中:中国支部, 四:四国支部,
九:九州支部。

各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

坂井記念特別賞候補者の募集について

第 6 回（平成 9 年度）坂井記念特別賞の候補者を募集いたします。

賞の候補者は、情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野の研究・開発に従事し、学術・技術の進歩に顕著な貢献が認められ、今後の進歩、発展に期待がもてる 39 歳（平成 10 年 3 月末現在）までの研究・開発者を対象といたします。なお、過去に応募された方の再応募も可能です。

賞の候補者を推薦される方は、下記の「坂井記念特別賞候補者推薦要領」を参照のうえ、本学会事務局まで「坂井記念特別賞候補者推薦書」用紙をご請求ください。

第 6 回（平成 9 年度）

坂井記念特別賞候補者推薦要領

- 対象分野 情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野とする。
- 候補者の対象
情報処理に関する分野の研究・開発に従事し、その成果が顕著であると認められ、今後、学術・技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究・開発を活発に行っている本学会正会員で 39 歳（平成 10 年 3 月末現在）までの若手研究・開発者とする。なお、候補者は個人または、共同研究・開発の場合は、その代表者とする。
- 推薦者 本学会正会員とする。
- 推薦手続 所定の推薦用紙に必要事項を記載し、当学会あて 1 部を提出する。
- 推薦締切日 平成 10 年 1 月 16 日（金）必着とする。
- 選考方法 学会内に坂井記念特別賞候補者選定委員会を設け、候補者 4 名以内を選定し、理事会において決定する。なお、選考の過程で、推薦者または候補者に照会する場合があります。
- 賞の贈呈 平成 10 年 5 月の第 40 回通常総会で表彰（賞状および賞金 30 万円を贈呈）

注）この賞の候補者を推薦される方は、下記あて推薦用紙をご請求ください。
（推薦書用紙請求先・提出先・照会先）

（社）情報処理学会 坂井記念特別賞担当係
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
e-mail:somu@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 <http://www.ipsj.or.jp>

研究発表会開催通知

(平成9年12月4日～12月19日)

◆第3回 モバイルコンピューティング研究会

(発表件数：13件)

(主査：水野忠則，幹事：小橋喜嗣，寺岡文男，渡辺 尚)

日 時 平成9年12月4日(木) 13：30～17：00

5日(金) 9：30～15：20

会 場 倉敷芸術科学大学 2号館 2101教室

[倉敷市連島町西之浦2640。JR：新倉敷下車，バス(倉敷芸術科学大学行)：倉敷芸術科学大学(終点)下車(約12分)。URL - <http://www.kusa.ac.jp/abstract/access.html> Tel(086)440-1061 (産業科学技術学部事務室 妹尾^{せのお})]

議 題

12月4日(木)

- (1) Wireless Multimedia 端末の QoS に関する考察 岡村耕二(神戸大)，中川晋一(国立がんセンター)
 (2) DHCP におけるメッセージ認証機能の実装と評価 上山晴久，小林和真，山口 英(奈良先端大)
 (3) 構内用 PHS 位置検出実験システムの開発 杉浦雅貴，金谷悦己，中野 剛(松下電器)
 (4) 遠隔医療を支援する Mobile 内視鏡開発のための要素技術の検討 中川晋一，永田 宏(国立がんセンター)
 岡村耕二(神戸大)，本庄利守，山岡克式(東工大)，山口直人(国立がんセンター)
 (5) 招待講演：(タイトル未定) 和田英一(富士通研)

12月5日(金)

[9：30～11：50]

- (6) HyperCampus: 状況依存性と個人適応性を備えた大学情報案内システム 長尾 確(ソニー)
 (7) モバイルインフォサーチ：移動環境下でのユーザ指向型 WWW 検索 三浦信幸，高橋克巳，坂本仁明，島 健一(NTT)
 (8) 移動計算機のための WWW 情報発信システムの構築—高負荷時における複製の利用— 田頭茂明，片山徹郎，最所圭三，福田 晃(奈良先端大)
 篠原章夫(NTT)
 (9) モバイル環境に着目した分散個人情報管理方式 篠原章夫(NTT)

[13：00～15：20]

- (10) ソフトウェア分散開発におけるプロセス・組織成熟度診断方式 内藤俊文，小泉寿男，片岡信弘(三菱電機)
 (11) クラスタ型モバイル通信の効果 青野正宏(三菱電機)，峰野博史，太田 賢，渡辺 尚，水野忠則(静岡大)
 (12) 適応可能アプリケーションの構築を支援する環境サーバ 中島達夫，会津宏幸，小林 勝，嶋本堅司(北陸先端大)
 (13) コンテンツ指向モバイルマルチメディアアクセス方式の空間的解像度の制御 太田 賢，増田彰久，渡辺 尚，水野忠則(静岡大)

* 宿泊：研究会にて推薦ホテルを設定しました。宿泊費，懇親会費，送迎(研究会会場/ホテル間)込みで1名15,000円です。

問い合わせは寺岡(ソニー CSL, tera@SonyCSL.co.jp)までお願いします。* 研究会ホームページ URL - <http://www.csl.sony.co.jp/sig-mbl>

◆第19回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

(発表件数：6件)

(主査：一之瀬進，幹事：児玉 明，小谷野浩，松本修一)

日 時 平成9年12月5日(金) 13：00～17：30

会 場 早稲田大学 理工学部 55号館 S棟 4F 10号室 会議室

[東京都新宿区大久保3-4-1。JRまたは地下鉄：高田馬場下車，徒歩10分。Tel(03)3203-4141]

議 題 テーマ：21世紀へ向けたサイバー世界の構築—サイバースペース，およびマルチメディア一般—

- (1) 特別講演：デジタル放送技術の展望 吉田 昇(郵政省)
 (2) サイバースペース上のサービスについて—構築手法と適用領域— 菅原昌平，松浦宣彦(NTT)，結城皖曠(文部省)，正木茂樹(NTT)
 (3) 新しいサイバースペース内移動インタフェースの提案 小林 稔，北川愛子，志和新一，市川忠嗣(NTT)
 (4) 人間と共存するサイバークリエーチャ 今井倫太(ATR)
 (5) 立体ハイビジョンにおける視差保証符号化の検討 内藤 整，松本修一(KDD)
 (6) マルチメディアプロシーディングパッケージの編集処理とその制御方法に関する検討 笠井裕之，高屋和幸，児玉 明，富永英義(早大)

(7) 特別寄稿：DAVIC の検討状況と予定

笠原久嗣 (NTT)

* 電子情報通信学会 (画像工学研究会), IEEE 東京支部 (BT グループ) 協賛.

◆第 119 回 計算機アーキテクチャ研究会

◆第 86 回 設計自動化研究会

合同研究会

(発表件数：11 件)

ARC : (主査：中島 浩, 幹事：木村康則, 関口智嗣, 宮田裕行)

DA : (主査：吉田憲司, 幹事：小山正弘, 寺井正幸, 若林真一)

日 時 平成 9 年 12 月 11 日 (木) 10 : 30 ~ 17 : 30

会 場 大阪大学 基礎工学部 国際棟シグマホール

[豊中市待兼山町 1-3. JR (新幹線) : 新大阪下車, 地下鉄 (御堂筋線) : 千里中央下車, 大阪モノレール : 柴原下車, 徒歩 10 分. または JR : 大阪下車, 阪急 (宝塚線) : 石橋下車, 徒歩 20 分. Tel(06)850-6111 (代)]

議 題 特集：機能論理設計, アーキテクチャ設計支援と一般

[10 : 30 ~ 12 : 00]

- (1) 並列計算機ネットワーク用ルータ・チップの自動設計システム 村上祥基, 朴 泰祐 (筑波大)
- (2) 非一様構造を考慮したシストリックアルゴリズム記述言語と処理系 菅谷至寛, 阿曾弘具 (東北大)
- (3) 最小全域木を生成した遺伝的アルゴリズムによる直線スタイナー問題 吉村昌浩, 渋沢 進 (茨城大)

[13 : 15 ~ 17 : 30]

- (4) CMOS パストランジスタ論理のためのセル開発とその応用 田中秀樹, 瀧 和男, 村田 豊, 宇田研一郎 (神戸大)
- (5) 非明示的列挙を用いたパターンマッチングについて 松永裕介 (富士通研)
- (6) 複数の制御部を持つ同期式順序回路に対する不変式の形式的検証法 齋藤義勝, 竹中 崇, 北道淳司, 船曳信生 (阪大)
- (7) メディアプロセッサ D30V の検証手法 中木村清, 吉田豊彦, 山田 朗, 佐藤尚和, 毛利篤史 (三菱電機)
- (8) アーキテクチャレベルでの消費電力の見積もりに関する研究 木村 勉 (豊田高専), 森藤孝文, 武内良典, 今井正治 (阪大), 引地信之 (SRA)
- (9) 1chipAV デコードを実現する不均質マルチプロセッサアーキテクチャ 落合利之, 吉岡康介, 木村浩三, 平井 誠, 清原督三, 貝田 邦尋, 法貴 光典 (松下電器)
- (10) 競合による予測精度低下を緩和する分岐予測機構 野口良太, 森 敦司, 小林良太郎, 安藤秀樹, 島田俊夫 (名大)
- (11) 接続する変数の生存区間に着目したレジスタ割付けの一方式 田中 旭, 佐山句子, 小谷謙介, 湯川博司, 丸山幸孝 (松下電器)

* 研究会終了後, 懇親会を予定しています.

* 翌日 (12 日) は同会場で電子情報通信学会 (コンピュータシステム研究会, VLSI 設計技術研究会の共催研究会) が開催されます.

◆第 19 回 音声言語情報処理研究会

(発表件数：20 件)

(主査：中川聖一, 幹事：岡田美智男, 小林哲則, 畑岡信夫)

日 時 平成 9 年 12 月 11 日 (木) 13 : 00 ~ 18 : 00

12 日 (金) 10 : 00 ~ 18 : 05

会 場 NTT 横須賀 R&D センター 講堂

[横須賀市光の丘 1-1. 京浜急行 : 野比下車, バス (通信研究所または横須賀市民病院行) : 通信研究所 (10 分) 下車. Tel (0468) 59-2230 (R&D センター受付), (0468) 59-2341 (HI 研音声部・相川清明)]

議 題 テーマ：音声言語処理, 音声認識・理解

12 月 11 日 (木)

- (1) 規則音声合成のためのパワー制御モデルの検討 濱上知樹 (千葉大/セコム)
- (2) 日本語長音の短母音化現象一語中位置および発話のスタイルとの関係一 助川泰彦 (東北大), 前川喜久雄 (国語研究所)
- (3) ロバストな音声認識実現を目的とした変調スペクトル特性の検討 金寺 登 (石川高専), Hynek Hermansky (OGI), 荒井隆行 (ICSI), 船田哲男 (金沢大)
- (4) スペクトル・サブバンド・セントロイドを利用した音声認識 柘植 覚 (ATR/徳島大), 深田俊明, Harald Singer (ATR), Kuldip K.Paliwal (Griffith 大/ATR)
- (5) 正準相関分析法を音素代表ベクトルに適用した教師なし話者正規化 桜木美春, 有木康雄 (龍谷大)
- (6) 声道の特徴量をを用いた話者クラスタリング手法の検討

- 内藤正樹 (ATR), Li Deng (Waterloo 大 / ATR), 匂坂芳典 (ATR)
- (7) 音素毎の話者クラスタに基づく話者適応法 阿部俊朗, 鈴木基之, 牧野正三, 阿曾弘具 (東北大)
- (8) 状態クラスタリングによる HM-Net の構造決定法の検討 堀 貴明, 加藤正治, 伊藤彰則, 好田正紀 (山形大)
- 12月12日(金)
- [10:00~12:20]
- (9) 対立音素間の尤度差に基づく信頼度尺度によるリジェクション 實廣貴敏, 高橋 敏, 相川清明 (NTT)
- (10) 音素接続HMMに基づく尤度正規化を用いたワードスポッティングの検討 加藤正治, 堀 貴明, 伊藤彰則, 好田正紀 (山形大)
- (11) 会話スタイル依存の言語モデルを用いたキーフレーズの検出・検証 河原達也, 石塚健太郎, 堂下修司 (京大)
- (12) ニュース音声認識におけるクラス言語モデルの検討 高木一幸, 小黒 玲, 橋本顕示, 尾関和彦 (電通大)
- [13:10~18:05]
- (13) 再現性を考慮した文字列に基づく統計的言語モデル 森 大毅, 阿曾弘具, 牧野正三 (東北大)
- (14) 予測単位の変更による単語 n-gram モデルの改善 森 信介, 山地 治, 長尾 真 (京大)
- (15) 品詞 N-gram 統計情報を用いた日本語文書における誤り検出法について 石場正大, 竹山哲夫 (三洋電機), 池田尚志, 兵藤安昭 (岐阜大)
- (16) 異種言語知識の併用による局所的信頼性向上 塚田 元, 山本博史, 竹澤寿幸, 匂坂芳典 (ATR)
- (17) Grammar Fragment Acquisition using Syntactic and Semantic Clustering Kazuhiro Arai (NTT), Jeremy H. Wright, Giuseppe Riccardi and Allen, L. Gorin (AT&T)
- (18) 京大総合情報メディアセンターにおける CALL の試み 早越弘子, 壇辻正剛, 中村順一 (京大)
- (19) 時間関係と対話性を考慮したマルチモーダル対話記述用スクリプト 秋葉友良, 神鷹敏弘, 伊藤克亘 (電総研)
- (20) わかってうなずくコンピュータの試作 平沢純一, 川端 豪 (NTT)
- *電子情報通信学会(音声研究会, 言語理解とコミュニケーション研究会)と共催.

◆第69回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

(発表件数: 11件)

(主査:野寺 隆, 幹事:佐藤三久, 寒川 光, 朴 泰祐)

日 時 平成9年12月12日(金) 10:30~18:00

会 場 慶應義塾大学(三田) 新研B

[東京都港区三田2-15-45. JR:田町または地下鉄(浅草線):三田下車, 徒歩10分. Tel.(03)3453-4511]

議 題

[10:30~12:10]

- (1) 形式的直交多項式の漸化式計算における near-breakdown について 高林記啓宣, 櫻井鉄也, 宍戸 考 (筑波大)
- (2) 反復法における直接解法の利用 寒川 光 (日本IBM)
- (3) 前処理つき共役勾配法の係数行列の条件数と収束判定 石黒美佐子, 陽遊美由紀 (茨城大)

[13:15~18:00]

- (4) URR 浮動小数点数演算のためのパイプライン加減算器の設計と FPGA による実現 大山光男 (倉敷芸術科学大)
- (5) ベクトル計算機上での MPEG-2 ソフトウェアエンコーダの高速化について 杉原光太, 池川将夫, 土肥 俊 (NEC)
- (6) 格子状 PC クラスタにおける 3次元分散 FDTD 法の実装と評価 服部 準, 阿部 真, 韓 青 (村田製作所)
- (7) 2階の微分方程式 $y'' = Qy + g$ に対する Waveform Relaxation の並列計算機への実装 山田 進, 小澤一文 (東北大)
- (8) 不完全 LU 分解の並列化とその性能 津野直人, 野寺 隆 (慶大)
- (9) 並列固有値ソルバーの実現とその性能 片桐孝洋, 金田康正 (東大)
- (10) CP-PACS における空間分割法による分子動力学法シミュレーション 松原正純, 板倉憲一, 朴 泰祐 (筑波大)
- (11) 分子動力学法プログラム AMBER と Barnes-Hut tree code の並列化と性能評価 斎藤 稔 (RWCP)
- 三十尾潔高, 志沢由久 (情報数理研), 丸川一志 (アロー), 秋山 泰, 野口 保, 鬼塚健太郎 (RWCP)

◆第23回 音楽情報科学研究会

(発表件数: 12件)

(主査:平賀 謙, 幹事:松島俊明, 村尾忠廣, 葉 孝之)

今回は日米各大学で音楽情報科学に関する研究・創作活動を行っている学生間の情報交換, 交流を深めるため「日米インターカレッジ・コンピュータ音楽フェスティバル」を同時に開催します。

日 時 平成9年12月13日(土) 10:30~17:30 *会場: A

14日(日) 11:00~18:00 *会場: A

15日(月) 11:00~20:00 *会場: B

16 日 (火) 11 : 00 ~ 20 : 00 *会場 : B

会場 *開催日により会場が異なりますのでご注意ください。

● A : NTT インターコミュニケーション・センター (ICC) ギャラリー D

[東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー 4F. 京王新線 : 初台下車, 徒歩 1 分. Tel 0120-144199]

● B : 慶應義塾大学 アートセンター

[東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学三田キャンパス北新館ホール (518 ホール). JR (山手線, 京浜東北線) : 田町下車, または都営地下鉄 : 三田下車, 徒歩 10 分. Tel(03)3453-0250]

議 題

12 月 13 日 (土) 会場 : A

[10 : 30 ~ 12 : 00]

(1) Pure Data Progress Report

Miller Puckette (カリフォルニア大サンディエゴ校)

(2) ZKM : 芸術の生まれる場として

古川 聖 (Zentrum fur Kunst und Medientechnologie)

○コンサート 1 (13 : 00 ~ 14 : 00) ○コンサート 2 (16 : 00 ~ 17 : 30)

12 月 14 日 (日) 会場 : A

○コンサート 3 (11 : 00 ~ 12 : 00) ○コンサート 4 (14 : 00 ~ 15 : 00) ○コンサート 5 (17 : 00 ~ 18 : 00)

12 月 15 日 (月) 会場 : B

[11 : 00 ~ 12 : 10]

(3) Score following and real-time signal processing strategies in open form compositions

Barry Moon (ニューヨーク大バッファロー校)

(4) I am trying to make sense

Luke DuBois (コロンビア大)

(5) Composer as Computer Musician

Yuriko Kojima (コロンビア大)

[13 : 00 ~ 15 : 30]

(6) Performing Technology

Terry Pender (コロンビア大)

(7) Music for piano and computer

Cort Lippe (ニューヨーク大バッファロー校)

(8) Two Highly Integrated Real-Time Music and Graphics Performance Systems

Robert Rowe (ニューヨーク大)

[16 : 00 ~ 18 : 00]

(9) パネル・ディスカッション 1 : Interactive Computer Music System

パネラー : Terry Pender, Miller Puckette, Robert Rowe, Cort Lippe

○コンサート 6 (18 : 30 ~ 20 : 00)

12 月 16 日 (火) 会場 : B

[11 : 00 ~ 12 : 00]

(10) Headphone-Driven Performance

Joshua Fried (ニューヨーク大)

(11) duosolo: convincing human/machine improvisation

Harry Castle (カリフォルニア大サンディエゴ校)

○コンサート 7 (13 : 00 ~ 14 : 00)

[14 : 30 ~ 16 : 00]

(12) 音楽理論と経験的知識を整合活用した作曲支援システム 梅本あずさ, 内山幹乃扶, 河合敦夫, 椎野 努 (三重大)

(13) Mapping virtual object manipulation to sound variation Axel Mulder, Sidney Fels, Kenji Mase (ATR)

[17 : 00 ~ 18 : 00]

(14) パネル・ディスカッション 2 : コンピュータ音楽とマルチメディア・アート

パネラー : (日米学生)

○コンサート 8 (18 : 30 ~ 20 : 00)

* コンサート参加大学 : カリフォルニア大サンディエゴ校, ニューヨーク大バッファロー校, ニューヨーク大, コロンビア大, 大阪芸術大, 早大, 国立音楽大, 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー, 慶大, 洗足学園大

* 慶大アートセンター, NTT インターコミュニケーション・センター (ICC) と共催, アメリカ大使館の後援.

* 展示 (ビデオ, サウンド・インスタレーション他) : 日時 12 月 13 日 (土) 10 : 00 ~ 14 日 (日) 18 : 00

会場 NTT インターコミュニケーション・センター (ICC)

* 時間等は変更の可能性がありますので, 最新情報は研究会のホームページ <http://www.hamamatsu-pc.ac.jp/SIGMUS/> をご参照ください.

* 照会先 : 萊 孝之 (国立音楽大) e-mail:rai@kcm-sd.ac.jp Tel(0425)35-9562 Fax(0425)34-3717

◆第66回 情報システム研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 黒川恒雄, 幹事: 阿部博昭, 魚住 董, 内木哲也)

日 時 平成9年12月17日(水) 13:30~17:30

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

[東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F. JR(山手線, 京浜東北線): 田町(東口)下車, 徒歩7分. または地下鉄(浅草線, 三田線): 三田下車, 徒歩10分. Tel.(03)5484-3535]

議 題 小特集: メディア業界の新たなコンテンツサービスと情報システム

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| (1) NIKKEI NET について | 高橋 純一 (日本経済新聞) |
| (2) オンラインサービスの動向とNIFTY SERVEの利用状況 | 小川英男 (ニフティ) |
| (3) インターネットを利用した転職支援サービス | 小林光夫 (リクルート人材センター) |
| (4) 放送界のデジタル化とIT戦略 | 南 次郎 (NHK) |
| (5) 電子メディア情報から電子新聞へ | 蓑田正彦 (毎日新聞社) |

◆第88回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 大野義夫, 幹事: 青野雅樹, 小堀研一, 斉藤 剛)

日 時 平成9年12月18日(木) 10:30~17:00

会 場 東京電機大学 神田校舎 11号館 16F 1603室

[東京都千代田区神田錦町2-2. JR: 神田またはお茶の水下車, 徒歩8分. Tel(03)5280-3323.

URL - <http://www.gcad.c.dendai.ac.jp/ipsj-sig/>]

議 題

[10:30~12:30]

- (1) スプライン関数を用いたデータあてはめ-遺伝的アルゴリズムによる節点の自動的な決定-

吉本富士市, 森山真光 (和歌山大)

- (2) 曲率パターンを指定した曲線の生成法

渡辺由美子, 斉藤 剛 (東京電機大), 黒田 満 (豊田工大)

- (3) 不規則メッシュ上でのwrinkly曲面の形成

藤本忠博, 大野義夫 (慶大)

[13:30~17:00]

- (4) セル構造オートマトンによる仮想粘土モデリング

荒田秀樹, 高井昌彰, 山本 強 (北大)

- (5) 粒子ベースモデルによる粘土のビジュアルシミュレーション

小田泰行, 千葉則茂 (岩手大)

- (6) 被写体の3次元空間定位によるビデオ映像の統合

西村 剛, 木原民雄 (NTT)

- (7) 画像処理を用いた距離画像から3次元形状への変換

西尾孝治, 小堀研一, 久津輪敏郎 (大阪工大)

- (8) 製品モデルにおけるfeatureの生成と検出

穂坂 衛 (東京電機大)

◆第46回 コンピュータと教育研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 大岩 元, 幹事: 河合和久, 河村一樹, 小林 修)

日 時 平成9年12月19日(金) 13:00~18:15

会 場 宮城大学 2F 多目的ホール

[宮城県黒川郡大和町学苑1-1. JR(新幹線): 仙台下車, 地下鉄(南北線): 泉中央下車, 仙台市営バスまたは宮城交通バス(泉パークタウン行): 宮城大学下車. Tel(022)377-8200(代)]

議 題

- | | |
|--|---|
| 1) 宮城大学のサイバーキャンパス | 藤井章博, 河村一樹 (宮城大) |
| 2) 事例研究にもとづくシステムエンジニア育成のカリキュラム | 藤井章博, 河村一樹 (宮城大) |
| 3) 非情報系学科における一般情報処理教育の事例 | 木村 清 (尚綱短大) |
| 4) 人文系大学における情報システムの運用管理教育 | 佐野 洋 (東京外語大) |
| 5) 絵を使った創造的作文支援システムへのこどもの日常知識の利用 | 石井余史子, Bipin Indurkha, 野瀬 隆, 乾 信雄, 小谷善行, 西村恕彦 (農工大) |
| 6) ゼミ形式の共同学習を支援するシステムの設計 | 木村拓広, 佐藤義則, 布川博士 (宮城教育大) |
| 7) 環境教育におけるマルチメディア教材管理 | 三国景史, 佐々木敦司, 伊藤佐智子 (学習情報通信システム研究所) |
| 8) 米国ノバト高校のコンピュータ導入 | 君島 浩 (富士通ラーニングメディア) |
| 9) 計算機科学の類出概念の理解を目指した情報リテラシー教育 | 神村伸一 (東北科学技術短大) |
| 10) 分散環境におけるグループ学習を実現するための学習者駆動型協調システム | 関 一也, 武井恵雄 (帝京大) |

*研究会終了後, 仙台市内で親睦会を予定しています。

研究会 論文募集

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名（登壇者に○）、略称所属、概要（50 字程度）、発表申込者連絡先（住所、氏名、Tel., Fax., e-mail）を明記の上、各研究会照会先まで e-mail または Fax. で直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は、事務局研究会担当宛（e-mail:sig@ipsj.or.jp Fax.(03)5484-3534）に開催日の 3 ヶ月前までにお申し込みください。

◆音声言語情報処理研究会

日 程 平成 10 年 2 月 5 日（木）・6 日（金）
会 場 箱根、熱海、伊豆地方で開催予定（現在の候補：日本 IBM 熱海保養所）
議 題 テーマ：音声によるヒューマンインタフェース
発表申込締切 平成 9 年 11 月 28 日（金）
照 会 先 畑岡信夫（日立 中研） e-mail:hataoka@crl.hitachi.co.jp Tel(0423)23-1111 Fax(0423)27-7716

◆モバイルコンピューティング研究会

日 程 平成 10 年 2 月 12 日（木）・13 日（金）
会 場 横浜ランドマークタワー
発表申込締切 平成 9 年 11 月 28 日（金）
照 会 先 中村俊一郎（三菱電機） e-mail:naka@ppr.isl.melco.co.jp Tel(0467)41-2823 Fax(0467)41-2988

◆音楽情報科学研究会

日 程 平成 10 年 2 月 19 日（木）・20 日（金）
会 場 NTT 厚木研究センタ講堂
発表申込締切 平成 9 年 11 月 25 日（火）*できるだけ e-mail でお願いします。
照 会 先 小坂直敏（NTT 基礎研究所） e-mail:osaka@idea.br1.ntt.co.jp Tel(0462)40-3655 Fax(0462)40-4725
*日本音響学会（音楽音響研究会）、電子情報通信学会（音声研究会）と共催。

◆システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会（OS）

◆マルチメディア通信と分散処理研究会（DPS）

上記 2 研究会合同の研究会を下記の通り開催します。発展的システムソフトウェア、マルチメディア、分散処理、インターネットなど共通の研究課題に関して、幅広い分野の方々からの応募をお待ちしています。

日 程 平成 10 年 2 月 26 日（木）・27 日（金）
会 場 北陸先端科学技術大学院大学
議 題 テーマ：発展的システムソフトウェア、マルチメディア、分散処理、インターネット
発表申込締切 平成 9 年 11 月 28 日（金）
照 会 先 OS：石川 裕（RWCP） e-mail:ishikawa@rwcp.or.jp Tel(0298)53-1651 Fax(0298)53-1652
DPS：佐藤文明（静岡大） e-mail:sato@cs.inf.shizuoka.ac.jp Tel(053)478-1453 Fax(053)475-4595

◆グラフィクスと CAD 研究会

日 程 平成 10 年 2 月 27 日（金）
会 場 情報処理学会 会議室（芝浦）
議 題 特集テーマ：ボリュームビジュアライゼーションおよび一般
発表申込締切 平成 9 年 11 月 28 日（金）
照 会 先 山戸佐知男（日本無線） e-mail:yamato@lab.jrc.co.jp Tel(0422)45-9231 Fax(0422)45-9740

◆ソフトウェア工学研究会

日 程 平成 10 年 3 月 10 日（火）・11 日（水）
会 場 情報処理学会 会議室（芝浦）

題 題 テーマ：クリーンルーム、および一般

表 表申込締切 平成 9 年 12 月 10 日 (水) *できるだけ e-mail でお願いします。 *概要：50 字程度，75 字以内。

会 会先 田中哲雄 (日立) e-mail:t-tanaka@sdl.hitachi.co.jp Tel(044)966-9111(ext.3245) Fax(044)966-6830

▶情報システム研究会

「第 8 回情報システム若手の会」 発表論文募集

第 67 回研究会は「第 8 回情報システム若手の会」として、情報システムの分析、設計、構築、運用、利用ならびに関与した研究に携わる若手の方々 (学生、若手社員、若手研究者および若手教育者など) の発表と討論を予定しています。一般発表のほかにも基調講演を計画しております。また、研究会終了後は簡単な懇親会を予定しております。

テーマは自由ですが、情報システムや教育用システムの開発事例、利用事例、評価事例など身近で小規模なシステムの開発を通じての課題や問題点等の発表も歓迎しています。なお、若手の定義は特に定めませんので、多数の応募をお待ちしております。

日 程 平成 10 年 3 月 17 日 (火)

会 場 東京工科大学 (八王子市)

表 表申込締切 平成 9 年 12 月 9 日 (火)

会 会先 初瀬川茂 (東芝) e-mail: shigeru.hatsusegawa@toshiba.co.jp Tel(03)3457-2376 Fax(03)5444-9217

▶プログラミング研究会

日 程 平成 10 年 3 月 23 日 (月)・24 日 (火)

会 場 電気通信大学 情報システム学研究科棟 大会議室 2F

題 題 特集：並列・分散処理および一般

表 表申込締切 平成 9 年 12 月 24 日 (金)

会 会先 村上昌己 (岡山大) e-mail:murakami@momo.it.okayama-u.ac.jp Tel(086)256-0833 (ext.452)

Fax(086)255-9136

特集は電子情報通信学会 (コンピュテーション研究会、ソフトウェアサイエンス研究会) と共催。

▶システム評価研究グループ

第 7 回研究会開催のお知らせおよび発表募集

日 程 平成 10 年 2 月 20 日 (金) 13 : 00 ~ 17 : 00

会 場 科学技術庁 研究交流センター 第 2 会議室

[つくば市竹園 2-20-5. JR (常磐線) : 荒川沖または土浦下車, バス (荒川沖下車=筑波大学中央・建築研究所・国土地理院・学園竹園行, 土浦下車=石下・鳥名・東新井・上郷/石下・筑波大学中央/北部工業団地行) : 竹園 2 丁目下車, 徒歩 10 分. あるいは東京駅八重洲南口より高速バス (つくばセンター行) : 竹園 2 丁目下車, 徒歩 10 分.]

題 題 情報処理システムのソフトウェア, ハードウェアなどの広い視野からの評価, および, 具体的な, 性能, 信頼性, 機能の豊かさ等についての評価の方法論, 評価技法と評価結果, ツール, モデル化技術等ご発表いただける方は, 下記期日までに, 題名, 発表者, 所属をお知らせください。

表 表申込締切 平成 9 年 12 月 15 日

会 会先 李 頡 (筑波大学 電子・情報工学系) e-mail:lijie@is.tsukuba.ac.jp Tel&Fax(0298)53-5521

交通・宿泊先等の情報 URL - <http://www.ijnet.or.jp/tsukuba/index1.html>

研究会終了後 (17 : 30 ~ 19 : 30) 懇親会 (会費 : 4000 円) を行う予定です。人数把握のため, 参加予定の方はお早めに照会先までご連絡ください。

本研究グループのメーリングリスト (System_evl_mllist@osdp.is.tsukuba.ac.jp) への登録/変更

メーリングリストに新規登録希望の方は, sysevl@osdp.is.tsukuba.ac.jp 宛に SUBSCRIBE SYSTEMEVL, お名前, ご所属をこの順に記して送ってください。登録された方々には, 本研究グループの毎回の発表募集と研究会開催の案内を電子メールによりお送りいたします。

既登録で登録内容に変更がある方は, sysevl@osdp.is.tsukuba.ac.jp 宛に CHANGE SYSTEMEVL, お名前, ご所属をこの順に記して送ってください。

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

- ・ 行事 No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください。
- ・ 欠席の場合も参加費は返金いたしません。
- ・ 会員の方は必ず会員 No. を記入してください。記入されていない場合は非会員とさせていただきます。

申込者 (A は該当番号に○)				
A : 会員/非会員	(1) 会員	(2) 主催研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B : 会員 No.			C : ご氏名	
D : 勤務先			E : ご所属	
F : 郵便番号	G : ご住所			
H : Tel			I : Fax	
J : e-mail				

送付先, 照会先などが上記と異なる場合のみ下記に記入
K :

申込行事	
L : 行事 No.	
M : 参加費	円
N : 懇親会費	円
O-1 : 論文集のみ	円
O-2 : 論文集のみ	冊

アンケート* 宿泊付行事のみ記入 (部屋割参考)	
P : 性別	(1) 女性 (2) 男性
Q : たばこ	(1) すう (2) すわない
R : 年齢	(1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代以上
S : 通信欄	

T : 支払方法 (該当番号に○)	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *	
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *	
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *	
	(4) 当日持参	
	(5) 現金書留	
[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日を分かる範囲で記入		
U : 送金名義人		
V-1 : 請求書 通	V-2 : 見積書 通	V-3 : 納品書 通
W : 請求書記載名義		
X : 送金に関する問合せ先		

申込先 (社) 情報処理学会 研究会/事業係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)

e-mail:jigy@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)

* e-mail での申込み: 各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと。

[例] A : (1), B : 999999, C : 情報太郎, ... T : (1) (1月30日送金予定), U : 情報太郎, V-1 : 1, V-2 : 1, V-3 : 1, W : (株) ××電気, ...

行事 No. RS97

「連続セミナー 97」参加者募集

昨年度は、「ネットワークコンピューティング時代の情報処理技術－理論と実践」というテーマで、主たる対象を中堅SEとした実務講座を開催し、これまで参加者から好評を得ています。本年度は引き続き中堅SEを対象とし、時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容と実務的な内容とをとりまぜて、受講者にとってより有益な情報、知識獲得の場といたしたく、「ネットワークは社会と個人をどう変えるか－21世紀のグローバル化に向けて－」というテーマを掲げて、以下の連続セミナーを開催いたします。

開催日時

- 第1回 平成9年6月13日(金) 10:00～17:00
「仮想環境社会の今後」 コーディネータ：中津良平(ATR)
- 第2回 平成9年7月24日(木) 10:00～17:00
「ネットワークコンピュータ」 コーディネータ：水野忠則(静岡大)
- 第3回 平成9年9月19日(金) 10:00～17:00
「イントラネットの最新動向とそれを支える技術」 コーディネータ：松下 温(慶大)
- 第4回 平成9年12月5日(金) 10:00～17:00(予定)
「ネットワークとセキュリティ」 コーディネータ：苗村健司(慶大)
- ・セッション1 10:00～11:15
「セキュリティサービスビジネスの展開とセキュリティ技術」 佐々木良一(日立)
- ・セッション2 11:30～12:45
「ネットワークにおける情報セキュリティ最新暗号技術とその応用」 岡本龍明(NTT)
- 昼休み
- ・セッション3 14:00～15:15
「ネットワークセキュリティの法律問題」 高橋郁夫(弁護士)
- ・パネルディスカッション 15:30～17:00
「グローバル化の時代における情報セキュリティの意義と課題」 コーディネータ：苗村憲司(慶大)
パネリスト：佐々木良一(日立), 岡本龍明(NTT), 高橋郁夫(弁護士)
- 第5回 平成10年1月19日(月) 10:00～17:00(予定)
「デジタル図書館」
- ・セッション1 10:00～11:15
「奈良先端大におけるマルチメディア電子図書館構築と今後の課題」 砂原 秀樹(奈良先端大)
- ・セッション2 11:30～12:45
「電子図書館とマルチメディアドキュメント管理」 金崎 克己(リコー)
- 昼休み
- ・セッション3 14:00～15:15
「電子図書館実現に向けて
－高度情報社会における国立国会図書館のサービスの課題と展望」 田屋 裕之(国立国会図書館)
- ・パネルディスカッション 15:30～17:00
「デジタル図書館技術の現状と将来」 コーディネータ：増永 良文(図書館情報大)
パネリスト 砂原 秀樹(奈良先端大), 金崎 克己(リコー), 田屋 裕之(国立国会図書館)
- 第6回 平成10年3月24日(火) 10:00～17:00(予定)
「データウェアハウス」 コーディネータ：鈴木健司(東京国際大)

会 場 工学院大学 312 教室(東京都新宿区)

参加費(6回分) 本会正会員 84,000円 非会員 105,000円 学生 12,600円

資 料 当日配布

定 員 250名

申込受付 随時(定員になり次第締め切ります)

申込方法 本号行事申込書または学会ホームページ(<http://www.ipsj.or.jp>)に必要事項をご記入のうえ、下記申込先までお送りください。申 込 先 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F (社)情報処理学会 事業係
e-mail:jigy@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

行事 No. S-IM97

「情報メディアシンポジウム'97」参加者募集 ～ 技術・デザイン・建築 — 情報と人間の豊かな出会い～

メディア技術の発達により、コンピュータ内の情報が小さな直立したディスプレイを飛び出し、さまざまなスケールやディメンジョンを持ち始めた。それは人間の身体を介した情報と建築の豊かなコラボレーションの始まりを告げる。

加えて、インターネットというメディアが、言語と身体の新たなデザインを可能にした。経験を造形する際に必要不可欠な言語は、身体的体験の中から豊かな経験を引き出す鍵を握っている。

身体的、言語的な豊かさを生み出す際に重要なのが、そのプロセスである。さまざまな視点を持った人たちによる豊かなコラボレーションの実践が、現在発散的に起こりつつあるさまざまな萌芽の試みをつなげつつある。

そこで本シンポジウムでは「建築の情報/情報的建築」、「情報/知識のデザイン」、「発展的ネットワークの実践」の3つのサブテーマに沿って、情報と人間の豊かな出会いに関する議論を深めていく。

日 時 平成 9 年 12 月 9 日 (火) ・ 10 日 (水) 両日とも 10 : 00 ~ 17 : 00
 会 場 工学院大学 3F 0312 教室 (東京都新宿区) *参加申込みの方には詳細を後日送付。
 主 催 情報処理学会 情報メディア研究会
 参 加 費 会員 : 18,000 円 (通常通り : 希望により請求書・領収書発行)
 会員 : 10,000 円 (請求書なし。学会指定郵便振替払込用紙による送金。払込票をもって領収書に代える)
 学生 : 3,000 円 非会員 : 20,000 円 (いずれも論文集代を含む)

論文集のみ 5,000 円 (送料込)

申込方法 本号会告欄の行事申込書により Fax, e-mail または, WWW でお申込みください。

参加申込締切 平成 9 年 11 月 25 日 (火)

申込/照会先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 e-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
 URL:http://www.ipsj.or.jp/sympo/mgyoji.html

プ ロ グ ラ ム

12 月 9 日 (火)

- [10 : 00 ~ 12 : 00] 特別講演 司会 : 苦米地英人
 ・メディアと豊かさ (仮題) 竹内郁雄 (電通大)
- [12 : 00 ~ 13 : 30] 作品展示
- [13 : 30 ~ 17 : 00] 建築的信息/情報的建築 司会 : 久保田晃弘
 ・ミーム・プールとそのアーキテクチャ 田中 譲 (北大)
 ・これがあれを殺すだろう:メディアテクノロジーと建築 入江経一 (入江建築設計事務所)
 ・情報メディアから身体的メディアへ 暦本純一 (ソニー)
 ・流動する建築・都市/フィジカルな情報空間 田島則行 (TATA 建築事務所)

12 月 10 日 (水)

- [9 : 30 ~ 12 : 00] 情報/知識のデザイン 司会 : 田中 譲
 ・共同作業におけるかたちと知識のデザイン 吉橋昭夫 (静岡大) 楠 房子, 永井由美子 (多摩美術大)
 ・情報のデザインが私たちに見せているもの 須永剛司 (多摩美術大)
 ・認知的デザイン・ランゲージへのアプローチ 久保田晃弘
- [12 : 00 ~ 13 : 30] 作品展示
- [13 : 30 ~ 16 : 00] 発展的ネットワークの実践 司会 : 岡林みどり
 ・建築空間と情報デザイン 岡 正明 (studio's tokyo)
 ・耳をやしなうー音律の歴史とその未来 藤枝 守 (作曲家)
 ・一芸一能サラリーマン最新事情 藤井忠生 (日本サラリーマン文化振興会世話役)
- [16 : 00 ~ 17 : 00] パネルディスカッション 司会 : 田中 譲

*情報メディア研究会のメーリングリストも開設されています。infomedia-ml@huee.hokudai.ac.jp あてに本文が #guide 1 行のみのメールをお送りください。案内文が自動返送されます。

行事 No. S-MPS97

「人工生命とその応用シンポジウム」参加者募集

—進化の数理モデルと工学への応用—

生物、生命という超複雑システムを理解し、それに学ぶことは、コンピュータ科学においても重要であります。過去においても、生物、生命のメカニズムやふるまいをヒントに生まれた発明、発見は少なくありません。

1970年代から、それらを数理モデル化して独立した情報システムとして捉え、その観点による研究から新しい知見を得たり、さらにそれらを手法としてさまざまな現実の問題解決に応用したりするアプローチが、コンピュータ科学においても、とられつつあります。また最近では、特に、生物、生命を含めた自然界の複雑な現象を解明する一つの有望な手法として、物理と同等あるいはそれ以上に「情報」に着目することの重要性も指摘されております。

このような状況から、本シンポジウムでは、人工生命の研究とその応用の両面の最新の話題に焦点を当て、研究成果の交流を図ります。関連分野が多岐に亘るため、さまざまな分野からの講演によりプログラムを構成しました。本シンポジウムを通じて、新たな問題の発掘と手法の応用の可能性を探ろうと思っております。

皆様の参加をお待ち申し上げます。

- 日時 平成9年12月15日(月)13:00~16:50・16日(火)10:00~17:00
 会場 東京農工大学 工学部 10号館 多目的会議室(東京都小金井市) *参加申込の方には詳細を後日送付。
 主催 情報処理学会 数理モデル化と問題解決研究会
 共催 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 参加費 会員(含む協賛学会):8,000円, 研究会登録会員:6,000円, 学生:2,000円, 非会員:12,000円
 (いずれも論文集代を含む)
 文集のみ 4,000円(送料込)
 申込方法 本号会告欄の行事申込書により郵送, Fax, e-mailまたはWWWにてお申込みください。
 申込締切 平成9年12月1日(月)
 申込/照会先 (社)情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
 e-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
 URL - http://www.ipsj.or.jp/sympo/mgyoji.html

プログラム

12月15日(月)

13:00~16:50]

- 主催者挨拶(13:00~13:10) 中森真理雄(農工大)
 1) 生物の形態形成を模倣した創発的CADシステム 長谷川光彦, 佐藤正顕, 叶 俊信(長岡技科大)
 2) 「流れに関する相関モデル」への一考察 杉本尚子(アドイン研究所)
 3) 情報学と物理学:カオスの縁の計算万能性 稲垣耕作(京大)
 4) 系図・系統・系譜学:系統推定におけるツリーとネットワークある組合せ論的最適化問題へのアプローチ
 三中信宏(農業環境技術研究所)
 5) 結合振動子系の自己組織化としてみた粘菌の行動 中垣俊之, 山田裕康(理化学研究所)

12月16日(火)

10:00~12:00]

- 1) 遺伝的プログラミングを用いた文字列処理プログラムの生成 掛川智央, 岡部洋一(東大)
 2) 大学時間割作成への遺伝的アルゴリズムの適用 土性雅史, 小野俊彦(福岡工大)
 3) GA・ヒューリスティック融合スケジューリング方式-車両転線計画の作成-
 佐藤達広, 江口俊宏, 村田智洋(日立)

13:10~17:00]

- 1) コミュニケーション・システムにおける語彙の進化と群行動 小山祐司, 有田隆也(名大)
 2) 進化的計算を用いた韻律係数フィッティングによる声質変換に関して 佐藤裕二(日立)
 3) 定常状態GAを直接実行するVLSIハードウェアの設計と評価 安岡智宏, 森木俊臣, 吉田紀彦(九大)
 4) LSIパッケージリードフレーム設計へのGAの適用
 川上かおり, 後藤明広, 滝 寛和, 中島克人, 佐藤裕幸(三菱電機)
 5) GAを用いた歯科治療支援システムの提案 和田将行, 大原茂之(東海大), 岩元義史(ノーザ)
 主催者挨拶(16:50~17:00) 中森真理雄(農工大)

行事 No. S-DBS97

「アドバンスト・データベース・シンポジウム'97」参加者募集
- 新世代データベースと情報メディア -

21 世紀を間近にひかえ計算機環境は大きく変わろうとしています。特にインターネットに代表されるネットワークの普及は、計算機の利用方法を大きく変えてきました。このような流れの中でデータベースシステムも、機能のみでなくその役割を大きく変えようとしています。本シンポジウムでは、これまでデータベース技術を中心とした様々な新技術をテーマに取り上げてきました。

本年はこれまでの議論を踏まえ、21 世紀に向けて中心となるであろう技術を中心に、基調講演、招待講演、研究発表、パネルを行います。データベース全般に渡る発表も多く予定しております。21 世紀のデータベースについて議論の場になりたいと思いますので、多くのデータベースに関わる技術者・研究者の参加をお願いいたします。

詳細は、ADBS97 ホームページ (http://www.db.cs.kobe-u.ac.jp/IPJSJ-DBS/Symposium/ADBS) をご覧ください。

- 日程 平成9年12月15日(月)~17日(水)
会場 工学院大学(東京都新宿区)*参加申込の方には詳細を後日送付。
主催 情報処理学会 データベースシステム研究会
協賛 電子情報通信学会 データ工学研究専門委員会, ACM SIGMOD JAPAN
参加費 会員(含む協賛団体): 25,000円, データベースシステム研究会登録会員: 20,000円, 非会員: 30,000円, 学生: 5,000円(いずれも論文集代を含む)
論文集のみ 9,000円(送料, 消費税込)
申込方法 本号会告覧の行事申込書により郵送, Fax または e-mail で送付のこと。
申込締切 平成9年12月5日(金)
申込先 (社)情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
e-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
URL - http://www.ipsj.or.jp/sympo/mgyoji.html
照会先 田中克己(神戸大) e-mail:tanaka@in.kobe-u.ac.jp Tel(078)803-1211 Fax(078)803-1217
原嶋秀次(東芝) e-mail:haras@sitc.toshiba.co.jp Tel(0423)40-6405 Fax(0423)40-6013

プログラム

12月15日(月)

- [10:00~10:30] 基調講演 (1) マルチメディアコンテンツのアクセスアーキテクチャ 田中克己(神戸大)
[10:30~12:00] セッション1:放送とデータベース (2) チュートリアル:データ放送の動向について 宮部義幸(松下電器産業)
(3) 放送型配信機構上での並行処理制御方式:山彦 白田由香利, 飯沢篤志(次世代情報放送システム研究所/リコー), 矢野隆志(リコー)
(4) デジタル放送インタラクティブ・データ配信のためのカラーセル型送出方式 DVX とその応用 角谷和俊, 楠見雄規, 岡村和男(松下電器産業)
[13:30~15:45] セッション2:GISと時空間データベース (5) 招待講演:Geo-Spatial Database(仮題) Mark Sondheim(Ministry of Environment, Land and Parks, Province of British Columbia Canada)(依頼中)
(6) 地理空間オブジェクトトレーダーク構想と仮想都市空間構築への適用方式の検討 谷崎正明, 嶋田 茂(日立)
(7) ブロックワールドデータモデルの提案とその実装法-3次元空間DBの実現に向けて- 増永良文(情報大)
(8) 時区間概念モデルを実装した時区間クラス 天笠俊之, 鈴木邦彦, 有次正義, 金森吉成(群馬大)
[16:15~16:55] セッション3:Javaとマルチメディア環境 (9) チュートリアル:Java Media Framework -MediaPlayer/2D/3D/Sound- Joseph C. Narlo II(日本サン・マイクロシステムズ)

12月16日(火)

- [10:00~12:00] セッション4:ハイパーメディアと構造化文書 (10) チュートリアル:XMLとその関連技術の最新動向 村田 真(富士ゼロックス情報システム)

- (11) データベースオブジェクトリンクを制約として有する構造化文書ビューの構築
加藤弘之, 吉川正俊 (奈良先端大)
- (12) TFE による HTML 生成質問における質問分割の効果と等価性
遠山元道 (慶大)
- (13) インダストリアル講演: 分散型ハイパーメディア情報システム Hyper-G
前山欣邦 (住友電工)
- [13 : 30 ~ 15 : 50] セッション 5 : 情報の検索と発掘 1
- (14) チュートリアル: 半構造データベースの研究動向 (仮題)
田島敬史 (神戸大)
- (15) Patent Categorization Using Document Frequency and Category Frequency
原 正巳 (NTT データ), Yiming Yang
月本 洋, 森田千絵 (東芝)
- (16) データマイニングツール KINO
小磯健吾, 川勝健司, 田島敬司, 田中克己 (神戸大)
- (17) ウォークスルーを用いた VRML 仮想空間上の段階的質問形成機構とその実装について
黒武者健一, 芥子育雄 (シャープ)
- (18) 連想検索技術を利用した文書の要約
荒川ゆう子, 増永良文 (情報大)
- [16 : 20 ~ 17 : 35] セッション 6 : 情報の検索と発掘 2
- (19) ビューと出現語彙表を用いた日本語発話によるリレーショナル DB アクセスの実現
村松 敦 (学情センター), 池田和幸 (富士通), 高須淳宏, 安達 淳 (学情センター)
- (20) 構造化インデックスを用いた情報検索システム
仲瀬明彦, 酒井 浩, 小柳 滋, 柿本 満 (東芝)
- (21) 時系列データマイニングにおける相関関係発見方式
- 12月17日(水)
- [10 : 30 ~ 11 : 20] セッション 7 : エージェントとマルチデータベース
- (22) 遠隔 DBS 連結機構を用いたマルチ DBS の実現方式 小宮輝之 (慶大), 細川宣秀 (筑波大), 清木 康 (慶大)
- (23) エージェント指向ワークフロー管理システムとその知識 DB
稲本 惇 (三菱電機)
- [11 : 20 ~ 12 : 00] セッション 8
- (24) チュートリアル: 画像の内容検索技術の動向
申間和彦 (NTT)
- [13 : 30 ~ 14 : 30] セッション 9
- (25) 招待講演: マルチメディア時代の著作権とデータベース
岡本 薫 (文化庁)
- [15 : 00 ~ 17 : 00] セッション 10
- (26) パネル: PDA により広がる放送型情報サービスと情報検索
コーディネイタ: 下條真司 (阪大)
パネリスト: 中村 眞 (シャープ), 今中 武 (松下電器産業), 長谷部浩一 (東芝)

行事 No. S-FI98

「1998 年情報学シンポジウム」参加者募集 シンポジウムテーマ：“Beyond the Internet”

—WWW情報検索・電子図書館・セキュリティ・著作権・マルチメディア情報流通・感性情報処理—

日時 平成 10 年 1 月 13 日 (火)・14 日 (水) 両日とも 9 : 30 ~ 17 : 00
会場 日本学術会議講堂 (東京都港区) *参加申込の方には詳細を後日送付。
共同主催 情報処理学会 (情報学基礎研究会), 日本学術会議 (情報学研究連絡委員会, 情報工学研究連絡委員会)
 人工知能学会, 日本医学会, 日本化学会, 日本数学会, 日本地理学会, 日本物理学会, 情報知識学会, 日本生物物理学
 会, 日本ソフトウェア科学会
後援 科学技術振興事業団, 化学情報協会, 学術情報センター, 計測自動制御学会, 国際電信電話株式会社, 情報科学技術協
 会, 情報通信学会, 電子情報通信学会, 日本医療情報学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本原子力学会, 日本材料
 科学会, 日本材料学会, 日本社会情報学会, 日本生化学会, 日本電信電話株式会社, 日本動物学会, 日本農学会, 日本
 分子生物学会, 日本分析化学会, 日本薬学会

参加申込締切 平成 9 年 12 月 24 日 (水) *当日受付も歓迎しますが, 資料不足の際は事前登録者を優先します。

申込方法 本号会告欄の行事申込書により Fax, e-mail または, WWW でお申し込みください。

申込先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
e-mail: sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

URL - <http://www.ipsj.or.jp/sympo/mgyoji.html>

参加費 (論文集代として) 共催学協会員: 10,000 円, 学生: 3,000 円, 非会員: 15,000 円

*当日出席できない方のために論文集 (郵送) の申込も受け付けています。

シンポジウム トピック

インターネットは, 伝送速度, 著作権の扱い, 情報セキュリティ問題, 有害情報の氾濫などの諸問題を抱えつつも, 一般の市民が利用できる状況に近づいて来た。インターネットの発展に伴って, 通信の高速化, 暗号・透かし, 高速・広域の情報検索など種々の技術が競って開発された。社会制度的には国境の無い通信環境に対応する法律整備の作業や著作権問題の検討も進められている。その一方, インターネットでは電子メールさえ使えば十分で, イベントなどの特別な場合を除いては, 一般市民の実生活の場では利用する機会が少ないとも, 囁かれている。

今回のシンポジウムでは, 普及が一巡したとも言われるインターネットが次なる飛躍をするために必要な, 種々の技術課題, 社会での法制度的課題, ビジネス面での応用などに取り組んだ研究発表を行う。併せて, 21 世紀へ向けての課題と言われる感性情報処理関連の論文発表も行う。

この場を利用して, 多くの研究者・開発者・ユーザなどが集まり, 意見交換をし, 互いに啓発しあうことが本シンポジウムの目的である。

基調講演・招待講演・一般論文発表での中心トピックは以下の通りである。

- ・インターネット上での情報流通や情報獲得のための技術
- ・インターネット上での情報流通に関わる諸課題
- ・インタラクティブなマルチメディア情報流通・検索・教育技術
- ・モバイルコンピューティング
- ・インターネットの利用システム
- ・情報流通のための基礎技術
- ・電子図書館, 電子美術館, 電子博物館
- ・感性情報処理のための技術

プログラム概要

- ◆基調講演: インターネット: 次世代情報環境への課題と役割 村井 純 (慶大)
- ◆特別講演: 我が国の計算機科学研究を推進するには 土居範久 (慶大)
- ◆招待講演: アーティスティックメディアにおける感性情報処理—音楽の世界を中心に— 井口征士 (阪大)
 モバイルコンピューティング 大澤智喜 (NEC)
 マルチメディア情報媒介システムの形成に向けて 坂内正夫 (東大)
 デジタル図書館の研究開発におけるいくつかのキーワード 杉本重雄 (情報大)
 エンドユーザ対応にカスタマイズ化されたコンテンツ選択の要求と技術 苗村憲司 (慶大)
 インターネット環境における情報流通の自由と制約 名和小太郎 (関西大)
 社会過程における情報処理と情報流通—情報科学と知識科学の展開に向けて— 増田祐司 (東大)
 データハイディング技術とその応用 森本典繁 (日本 IBM)
- ◆パネル討論: これからのサイバースペース探索 司会: 西田豊明 (奈良先端大)
 パネリスト: 及川正隆 (ヤフー) : Yahoo! JAPAN のカテゴリとその分類について
 稲垣博人 (NTT) : インターネットサーチエンジンのローカライズとは?
 海野 敏 (東洋大) : 情報探索の新しい位相
 住田一男 (東芝) : WWW サーチエンジンの未来
 岩山 登 (富士通研) : 利用者コミュニティに基づく WWW ナビゲーション

◆一般講演: 一般講演のプログラムは, 次号 (12 月号) 本欄に掲載します。

*内容に関しては講演者の都合により変更される場合がありますのでご了承ください。

[シンポジウム実行委員会]

情報処理学会 情報学基礎研究会, 実行委員長: 木本晴夫 (NTT), プログラム委員長: 大山敬三 (学情センター)

行事 No. S-IS98

「利用者指向の情報システムシンポジウム」参加者募集

—情報システム学の可能性と展望—

情報システムは人間が持つ社会的な情報活動全般を包括しているといえます。そのため、情報システムを取り巻く諸問題に取り組むには、既成の企業組織や情報技術の側面からのみ情報システムをとらえるのでは十分ではありません。つまり、人間の情報活動の本質を中心に据えた情報文化としてのシステム設計と、技術的な開発面ばかりでなく人間と技術双方のシステムの複雑な相互作用としてのシステム開発や管理などの視点が重要であるといえます。

本シンポジウムでは、このような人間の文化的側面を持った情報システムが直面する課題を人間と技術の双方の側面から総合的にとらえて議論し、問題解決のための対応策や具体例ばかりでなく、今後の研究の枠組みや議論の基礎となる共通知識の形成を目指した情報システム学ともいえる研究領域の可能性についても展望する予定です。また、発表者との個別討論や参加者同士の親睦の場として、懇親会も予定しておりますので、奮ってご参加ください。

日 時 平成 10 年 1 月 23 日 (金) 9 : 30 ~ 17 : 30
 会 場 東洋大学 白山キャンパス 2 号館 16F スカイホール (東京都文京区)
 *参加申込みの方には詳細を後日送付。
 主 催 情報処理学会 情報システム研究会
 協 賛 (社) 日本情報システム・ユーザ協会
 参 加 者 会員 (含む協賛協会) : 6,000 円 研究会登録会員 : 4,500 円 学生 : 1,500 円 非会員 : 10,000 円
 (いずれも論文集代を含む)
 論文集のみ 5,000 円 (送料込)
 懇親会費 2,000 円 (当日申込の場合は 2,500 円)
 申込方法 本号会告欄の行事申込書により Fax, e-mail または, WWW でお申込みください。
 申込締切 平成 9 年 12 月 26 日 (金)
 申込/照会先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 e-mail : sig@ipsj.or.jp Tel (03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
 URL - http://www.ipsj.or.jp/sympo/mgyoji.html

プ ロ グ ラ ム

- [9 : 30 ~ 9 : 40] 開会の辞 黒川恒雄 (國學院大)
- [9 : 40 ~ 11 : 40] セッション I
 - 1-1 システム思考と組織構造 手島歩三
 - 1-2 ARBOC 設計技法による CIS の実現 酒谷信佳 (NTT データ)
 - 1-3 人文系大学における情報システム開発技法と管理体制 佐野 洋 (東京外国語大)
 - 1-4 事例研究を中心にした情報システム教育について 河村一樹 (県立宮城大)
- [12 : 40 ~ 13 : 30] 基調講演
 - ・情報システム学カリキュラム案「IS97」について 神沼靖子 (前橋工科大)
- [13 : 30 ~ 14 : 30] セッション II
 - 2-1 インターネット・プロバイダからの提供情報 水野勝成 (東大)
 - 2-2 柔構造アーキテクチャを用いたサイバー情報システム 山本修一郎 (NTT)
- [14 : 40 ~ 16 : 10] セッション III
 - 3-1 情報システムはイノベーションを生むか? : 文化論的考察 宗澤拓郎 (新潟国際情報大)
 - 3-2 情報システムに関する研究テーマの基本動向 内木哲也 (東洋大)
 - 3-3 情報通信システムの有する意味の分析 刀川 眞 (NTT データ)
- [16 : 20 ~ 17 : 20] パネル討論
 - ・「利用者指向の情報システム」に向けての情報システム学への期待 司会 : 中嶋聞多 (信州大)
奥田和男 (日本情報システム・ユーザー協会), 阿部昭博 (松下電器産業)
辻 秀一 (電子商取引実証推進協議会), 内木哲也 (東洋大)
- [17 : 20 ~ 17 : 30] 閉会の辞 魚住 董
- [17 : 30 ~ 19 : 30] 懇親会



第 4 回アジア太平洋ソフトウェア工学国際会議 (APSEC'97) 参加募集

December 2-5, 1997, Royal Plaza Hotel, Hong Kong

情報処理学会ソフトウェア工学研究会では、アジアにおけるソフトウェア工学に関する国際会議として 1994 年に APSEC を創設し、今年で 4 回目となりました。今回は、返還後の香港が会場です。多数の参加をお待ちしています。なお、詳細は <http://www.comp.hkbu.edu.hk/~apsec/> をご覧下さい。

Tutorial: Dec. 2, 1997

- (1) Organizing, Managing and Optimizing Software Testing, H. Schaefer
- (2) Design Patterns—Essentials, Experience, Java Case Study, W. Pree, H. Sikora
- (3) OPEN-MeNTOR: A Third Generation OO Methodology Advanced Tasks and Techniques, P. Swatman
- (4) Design and Implementation of Coordination and Workflow Management Technology, F. von Martial

Dec. 3, 1997 (Day 1)

Keynote Address: Observations Regarding Internet and Intranet Technology, B. Shriver, Genesis 2, Inc. and U. of Tromso, Norway

Session 1A: Metrics and Quality Assurance

- Quality and Reuse in Industrial Software Engineering, G. Butler
- Quality Assurance Certification: Adoption by Australian Software Developers and its Association with Capability Maturity, A. Cater-Steel, E. Fitzgerald
- Criticality Prediction Models using SDL Metrics Set, E. Hong, C. Wu
- Measuring Class Coupling and Cohesion: A Formal Metamodel Approach, S. Moser, V. Mistic

Session 1B: Formal Methods

- Pssum: An Animator for the SUM Specification Language, D. Hazel, P. Strooper, O. Traynor
- Formal Operational Semantics for SOFL, S. Liu, C. Ho-Stuart
- Multi-Plan Attribute Grammars, W. Yang
- Denotational Semantics for JSD, W. Yeung

Session 1C: Knowledge and Logic Based Systems

- Distributed Constraint-Based Search Architecture For Bus Timetabling and Duty Assignment, H. Chun
- Discovery of Cases for Case-Based Reasoning in Engineering, H. Dai
- Reducing Uncertainties in Data Mining, Y. Li, H. Dai
- HKBCN: A Hybrid Intelligent System for Knowledge Revising, X. Wu, J. Hughes

Session 2A: Object-Oriented Techniques

- Methodology for Object-Oriented Constraint Programming, H. Chun
- The Development of an Object-Oriented, Discrete-Event Simulation Language using Java, P. Martin
- Towards Constructing a Class Evolution Model, T. Nakatani, T. Tamai, A. Tomoeda, H. Matsuda

Session 2B: Validation and Verification (I)

- Modular Reasoning in Object-Z, A. Griffiths
- Finite Symbolic Reachability Graphs for High-Level Petri Nets, N. Hameurlain, C. Sibertin-Blanc
- A Tool-Suite for Reachability Analysis of Concurrent Object-Oriented Programs, S. Iyer, S. Ramesh

Session 2C: Distributed and Mobile Systems

- Maapping Ada Source Code into an Abstract Program Space, P. Bailes, P. Burnim, M. Chapman
- Client Location Tracking with K-Step Prediction and Cache Policy in Ubiquitous Information Service Network, H. Jang, Y. Lien, J. Huang
- An Architecture and a Framework for IP Applications, M. Noro, K. Goto

Panel: Exploring the Niche Market: The Future of Software Professionals in the Asia-Pacific Region, Chair: V. Shen, Hong Kong U. of Science & Tech.

Dec. 4, 1997 (Day 2)

Keynote Address: Software Industry in Mainland China: Opportunities and Problems, X. Zhou, Beijing Information Technology Institute, China

Session 3A: Software Design Methodology (I)

- Using Extended Event Traces to Describe Communication in Software Architectures, M. Broy, C. Hofmann, I. Krueger, M. Schmidt
- Design by Contract for Python, R. Ploesch
- A Reverse Engineering Method and Experiences for Industrial COBOL System, K. Sanou, D. Ikeo, T. Nagashima, M. Tsuda, S. Akiba, I. Nagaoka
- Software Engineering Research: A Methodological Analysis, F. Xia

Session 3B: Validation and Verification (II)

- Petri Nets Based Proofs of Ada 95 Solution for Preference Control, K. Barkaoui, C. Kaiser, J. Peyre
- About the Suitability of Petri Nets for Describing Validating and Evaluating SA-RT Specifications, A. Benzina, M. Paludetto, J. Delatour
- Integrating Safety Analysis and Requirement Engineering, G. Kotonya, I. Sommerville
- Detecting Common Mode Failures in N-Version Software Using Weakest Precondition Analysis, G. Yoon, S. Cha, Y. Kwon, C. Houngyoo

Session 3C: Software Process

- Software Development as a Workflow Process, D. Chan, K. Leung
- An Approach to Software Process Management Based on Formal Process Modeling and Analysis, S. Min, I. Han, W. Park, D. Bae
- Genericity in Method Construction, V. Pihon, C. Rolland
- Legacy Systems Migration: A Method and its Tool-kit Framework, B. Wu, D. Lawless, J. Bisbal, D. O'Sullivan, R. Richardson

Session 4A: Software Design Methodology (II)

- Object-Oriented Web Application Architectures and Development Strategies, E. Cho, S. Kim, S. Rhew, S. Lee, C. Kim
- Scenario Reuse: A Technique for Complementing Scenario-Based Requirements Engineering Approaches, W. Lam
- A Design Framework for System Re-engineering, X. Liu, Z. Chen, H. Yang, H. Zedan, W. C. Chu

Session 4B: User Interaction

- Cognitive Deficiencies in Software Library Design, S. Atkinson
- A Theory of Interactions and Scenes for User Centered Systems Specification and Verification, A. Faro, D. Giordano
- Specifying the UQ* Editor User-Interface with Object-Z, A. Hussey, D. Carrington

Session 4C: Testing

- Compacting Regression-Suites On-The-Fly, E. Buchnik, S. Ur
- Slicing Object-Oriented Programs, J. Chen, F. Wang, Y. Chen
- On the Criteria of Allocating Test Cases Under Uncertainty, T. Chen, Y. Yu
- Translating Object-Z Specifications to Object-Oriented Test Oracles, J. McDonald, L. Murray, P. Strooper

Panel: The Year 2000 Problem, Chair: K. Kishida, SRA

Dec. 5, 1997 (Day 3)

Keynote Address: Who will Build the Digital Systems? L. Belady, Mitsubishi Electric Research Laboratories, U.S.A.

Session 5A: Software Development Environment

- DOOD: Distributed Object-Oriented Software Development Environment, T. Kim, W. Shin, G. Park, T. Lee, T. Kim, Y. Shin, C. Wu
- MetaBuilder: A Generic CASE Tool Builder, M. Gong, L. Scott, R. Offen
- JB-OOBDBT: An Object-Oriented Database Development Toolkit for JB/CASE C++, X. Xuebiao, G. Ning, S. Baile
- Conditional Evaluation in Simple Multi-Visit Attribute-Grammar Evaluators, W. Yang

Session 5B: Concurrency

- Formal Model of Concurrency for Distributed Object-Oriented Systems, M. Barrio, P. de la Fuente
- TPAL: A Timed-Probabilistic Model for Concurrent Processes, A. Bueno, V. Valero, F. Cuartero
- A Test-case Generation Method for Concurrent Programs Including Task-types, T. Katayama, Z. Furukawa, K. Ushijima
- Design of Protocols in Timed CSP for Highly Reliable and Available Client-Server System, N. Ogura, K. Saisho, A. Fukuda

Panel: How can Software Engineering Techniques Help Small Developers?, Chair: H. Leung, Hong Kong Polytechnic U.

Concise Papers

- A Z Specification of Use Cases: A Preliminary Report, G. Butler, et al.
- LOODS: A New Learning-Based Object-Oriented System Development Environment, Q. Deyu
- Integration of Application Systems by Modelling Information Shared among Applications, P. Ghosh, et al.
- A Visual Programming Environment for Z Specifications, S. Lam, et al.
- Software Metrics and Application Domain Complexity, W. Li, et al.
- An Approach to Software Testability Measurement, J. Lin, et al.
- Not Whether Java but How Java, C. Wallace, P. Martin
- Conceptual Issues of Object-Centered Process Model, M. Matsushita, et al.
- Software Requirements Definition for Specification Database, A. Ohnishi
- Component-Based Software Development: A New Paradigm in Software Engineering? W. Pree
- Exploiting the Advantages of Object Oriented Programming in the Implementation of a Database Design Environment, N. Stanger, et al.
- Software Assisted Handover of Mobile Clients in Heterogeneous Wireless Computing Environments, E. Sung, et al.
- An Overview of Legacy Information System Migration, J. Bisbal, et al.

電子博物館シンポジウム(Symposium on Digital Museums)参加者募集

下記の要領で、電子博物館シンポジウムを開催致します。博物館情報とネットワーク、電子博物館に関する研究動向を紹介するとともに、この問題を総合的に議論したいと存じます。皆様の御参加をお待ちしております。

日程 平成9年12月18日(木)・19日(金)
会場 国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園内)
主催 アート・ドキュメンテーション研究会, 記録管理学会
 情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会
後援・協賛 日本博物館協会, 全国美術館会議, ハイビジョン・ミュージアム推進協議会
参加費 1000円(主催団体会員800円), 懇親会費: 7000~8000円
プログラム

12月18日(木) 13:00(受付開始:12:30)~19:30(含、懇親会)

基調講演: 電子博物館のゆくえと民博におけるとりくみ 杉田 繁治(国立民族学博物館)
 研究発表: 文化庁文化財情報システムについて 高見沢 明雄(東京国立博物館)
 ・早稲田大学文学部での情報化(仮題) 吉田 順一(早稲田大学)
 ・博物館のデジタル化と展示の課題 高橋 信裕(文化環境研究所)
 ・携帯情報端末による新しい展示手法 和田 哲也(松下電器(株))

12月19日(金) 10:20(受付開始:10:00)~16:00

研究発表: 新しい博物館の創造に向けて 門林 理恵子(ATR)
 パネルディスカッション: 電子博物館はどこへゆく: 360度の視点から
 八重樫純樹(静岡大学), 鯨井秀伸(愛知県立美術館), 八村広三郎(立命館大学),
 波多野宏之(国立西洋美術館), 椿昇(アーティスト), 山本育夫(『ドーム』編集長)
 特別講演: 東京大学総合研究博物館における電子博物館へのとりくみ
 坂村 健(東京大学総合研究博物館)

参加定員 100名

問合先, 申込先: 田窪直規 〒577 東大阪市小若江3-4-1 近畿大学 短期大学部 TEL:06-721-2332
 FAX:06-728-7546, EMAIL:tntakubo@cced.kindai.ac.jp

申込方法: 氏名、所属、連絡先住所、電話番号、FAX番号、メール・アドレスなどを明記の上(主催団体会員の場合は所属団体名も明記)、参加日(両日とも、18日のみ、19日のみ)、懇親会への参加の有無を記して、郵送か、FAXか、メールで。申込定員の関係で参加不可の場合のみ、申込者に連絡。
申込締切: 12月8日(月)必着

科学技術者 100万人集会 第7回「基礎研究の振興と科学技術教育」シンポジウム —経済構造の改革と国際的エンジニア育成—

日時 平成9年12月8日(月) 10:00~17:30
会場 日本学術会議講堂 (Tel(03)3403-6291) 東京都港区六本木7-22-34
主催 (社)日本工学会, (社)日本工学教育協会

プログラム

10:00~11:30 [第1部] 国際的エンジニア教育への改革
 11:30~12:19 基調講演 「日本経済の再建と科学技術政策」 経済企画庁長官 尾身幸次
 13:00~14:40 [第2部] 産業革新政策とエンジニア育成
 14:50~16:30 [第3部] エンジニア教育と資格問題への学協会への対応
 16:30~17:20 質疑応答

照会先 (社)日本工学会 Tel(03)3475-4621 Fax(03)3403-1738

「第 39 回 プログラミング・シンポジウム」参加者募集

プログラミング・シンポジウムは通常のシンポジウムとは異なり、自由な雰囲気の中で計算機の無限の可能性を開拓していく「夢のシンポジウム」を目指したものです。1960 年に第一回目が開催されて以来これまでに、将来を展望したプログラミング技術等に関して、毎年活発な討論が行われ、その中から数多くの斬新なアイデアが生まれてきました。

1. 学術論文発表の場というより、多方面の人々の共通の討論の場であり、意見交換の場であると考えています。
(ポスター発表およびデモンストレーションなどの場所を用意し、夕食後にも、自由討論の場を用意します。)
2. 情報処理の発展のために、多数の方々が参加され、活発に発言されることを期待します。

本シンポジウムの趣旨から、「情報処理分野で多くの経験のある方、また、これに強い関心を持ち積極的に勉強されている若い方々で、特にシンポジウムにおいて有益な形で討議に参加しようという意欲のある」方々の参加を希望します。

記

日 程 平成 10 年 1 月 7 日 (水) 11 : 00 受付開始
 13 : 00 開会
 ~ 9 日 (金) 12 : 10 閉会

会 場 箱根ホテル小涌園 (神奈川県足柄下郡箱根町二の平 1297) Tel(0460)2-4111

交 通 路線バス: 小田原駅表口<登山バス: 箱根町行き>~小涌園前 約 40 分
 箱根湯本駅<同>~小涌園前 約 30 分
 タクシー: 小田原駅表口~会場 約 30 分
 箱根湯本駅~会場 約 20 分

申込締切 11 月 28 日 (金)

申込方法 本号会告 14 ページの申込書をご利用ください。

照会・申込み先 情報処理学会 事業係 Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
 e-mail:prosym@ipsj.or.jp (受領メールを返信します) http://www.ipsj.or.jp/sympo/
 〒 108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

参加費 一般 会員: 45,000 円 非会員: 50,000 円
 大学院学生 会員: 27,000 円 非会員: 32,000 円
 (予稿集代, 宿泊費, 食費, 消費税を含む。)
 * 2 つ以上の身分をお持ちの方には、高い方の会費を適用させていただきます。

- ・参加申込後やむを得ず参加を取り消される場合は 12 月 12 日 (金) までに連絡をお願いします。取り消しの連絡のない場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の参加は認めません。
- ・発表者の方も参加申込が必要です。
- ・会場、宿泊施設の都合で、お申込に応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
- ・開催期間中の中途での出入りや、人員の交替はご遠慮ください。

プログラム (発表概要は学会ホームページ <http://www.ipsj.or.jp/sympo/> をご覧ください。)

第 1 日 1 月 7 日 (水)

開会の辞 [13:00 ~ 13:10]

セッション 1 [13:10 ~ 15:10]

座長: 寺野 隆雄 (筑波大)

- コンピュータによる建築構造設計支援のあり方について 稲田達夫 (三菱地所)
- データ依存関係の表現を明確にするプログラミング法 大場克彦 (京都医療技術短大), 貴島寿郎 (豊橋技科大)
- DNA コンピュータ: その現状と可能性 神原康文 (電機大), 萩谷昌己 (東大), 横森貴 (電通大)

- 休憩 [15:10 ~ 15:30] -

セッション 2 [15:30 ~ 18:00]

座長: 川合 慧 (東大)

- 教育用ソフトウェアシステムの設計における視点 澤田伸一, 坂東宏和, 中川正樹 (農工大)
- WWW による教材提供とその功罪 藤村直美 (九州芸工大)
- 大学でのパブリックコンピュータを考える - 情報教育とその環境 - 筧 捷彦, 原田康也 (早大), 山本喜一 (慶大)

- 夕食 [18:00 ~ 19:00] -

夜のセッション [19:00 ~ 21:00]

自由討論 (飲み会) [21:00 ~]

第2日 1月8日(木)

-朝食 [7:00 ~ 9:00] -

セッション3 [9:00 ~ 10:20]

- 電子メールで原稿を修正する方法
- qmailを使った安全なメール環境

座長：美馬 義亮 (日本IBM)
竹内郁雄 (電通大)
前野年紀 (東工大)

-休憩 [10:20 ~ 10:40] -

セッション4 [10:40 ~ 12:00]

- 呼んでも君は振り向いてくれない
- AP3000上での並列記号・代数計算およびその暗号への応用

座長：笈 捷彦 (早大)
近山 隆 (東大), 藤瀬哲朗 (三菱総合研)
野呂正行 (富士通研)

-昼食 [12:00 ~ 13:10] -

セッション5 [13:10 ~ 15:10]

- 招待講演 コンピュータメーカーにおけるサービスビジネスの展開
- 表彰・報告 夏のシンポジウム (梅村), 若手の会 (田中), GPCC (小谷)

座長：和田 英一 (富士通研)
菊田泰代 (富士通)

-休憩 [15:10 ~ 15:40] -

セッション6 [15:40 ~ 17:40]

- Javaの高速化
- 名前置換えプログラム -動的スコープの場合-
- テキスト形式のContinuationの生成と、そのプログラミング

座長：前野 年紀 (東工大)
志村浩也, 河場基行, 木村康則 (富士通研)
和田英一 (富士通研)
下川僚子, 梅村恭司 (豊橋技科大)

-自由時間 [17:40 ~ 18:00] -

-夕食 [18:00 ~ 19:00] -

夜のセッション [19:00 ~ 21:00]

自由討論 (飲み会) [21:00 ~]

第3日 1月9日(金)

-朝食 [7:00 ~ 9:00] -

セッション7 [9:00 ~ 10:20]

- 新しいCPUの提案
- Daphneによる音楽表現の形式化

座長：大野 浩之 (東工大)
原田康徳 (NTT基礎研)
平賀瑠美, 五十嵐滋, 劉剣利 (筑波大)

-休憩 [10:20 ~ 10:40] -

セッション8 [10:40 ~ 12:00]

- 日本語における有繋文字列
- 計算機屋と歴史学者の協調作業 - 計算機の専門家が非専門家のプロジェクトに参加して -

座長：馬場 伊美子 (七尾短大)
近澤志保, 斉藤博明, 中西正和 (慶大)
並木美太郎 (農工大)

閉会の辞 [12:00 ~ 12:10]

ポスター発表 [第1日~第3日]

- 「楽しさ」を付加した教育支援システムの設計と試作
- コンピュータミュージックを利用した情報処理教育
- 出現頻度の変動を利用したキーワード抽出アルゴリズムの索引生成への応用

坂東宏和, 澤田伸一, 中川正樹 (農工大)
馬場伊美子 (七尾短大)

白倉悟子, 小川貴英 (津田塾大), 梅村恭司 (豊橋技科大)

「第 39 回プログラミング・シンポジウム」 参加申込書

●参加区分（記号で選択のこと）

	会 員	非会員
一般（3 名 1 室）	（1-A）45,000	（1-a）50,000
一般（2 名 1 室）	（1-B）50,000	（1-b）55,000
一般（1 名 1 室）	（1-C）69,000	（1-c）74,000
学生（4 名 1 室）	（1-D）27,000	（1-d）32,000

* 情報処理学会会員の方は、会員番号もご記入ください。

- (A) 会員 No. _____
- (B) 第 1 希望 _____
- 第 2 希望 _____
- 第 3 希望 _____

●送金、支払い方法（記号で選択のこと）

- (2-a) 当日持参
 - (2-b) 現金書留で送金
 - (2-c) 郵便振替（00150-4-83484）
 - (2-d) 銀行振込（第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945）
 - (2-e) 銀行振込（東京三菱銀行虎ノ門公務部 0000608）
- 名義人：社団法人 情報処理学会（いずれも普通預金）

(C) 記号 _____

●請求書類の必要な方はお申し出ください。

- (D) 送金／振込日 _____
- (E) 請求書 _____ 通
- (F) 見積書 _____ 通
- (G) 納品書 _____ 通
- (H) 請求書宛名 _____
- (I) 年齢 _____ 歳
- (J) 性別記号 _____
- (K) 宿泊記号 _____
- (L) _____ 氏と同室希望
- (M) _____

●次の各項目は部屋割の資料として使います。

- 性別 (3-a) 男 (3-b) 女
 - 宿泊室（3 名以上 1 室の場合）
 - (4-a) 喫煙室希望・(4-b) 禁煙室希望 (4-c) 早寝希望
 - (2 名 1 室の場合)
- そのほか特に希望があればご記入ください。

●次の各項目はシンポジウム運営の参考にします。

- 夜の自由討論の希望テーマ
- デモンストレーション希望

- (N) _____
- (P) _____

●申込み先（下記まで e-mail、郵送または Fax. で送付のこと）

（社）情報処理学会 事業係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 e-mail:prosym@ipsj.or.jp
 e-mail でのお申込みは各項目に付したアルファベットで入力してください。
 （例：B:第 1 希望-1-b, B:第 2 希望-1-a, D:9 月 18 日...）
 また、下記の住所・氏名記入欄は宛名ラベルとして使用できるように体裁で入力してください。

申込者	_____		
連絡先	〒	_____	
機関・	_____		
部課名	_____		
フリガナ	_____		
氏名	_____	殿	_____

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

e-mail: _____

注) 枠内をコピーして宛先として案内を郵送できるようご記入ください。

「画像の認識・理解シンポジウム (MIRU'98)」論文募集

— Meeting on Image Recognition and Understanding '98 —

日 程 平成 10 年 7 月 29 日 (水) ~ 31 日 (金)
 会 場 岐阜市 未来会館 (岐阜城を仰ぐ金華山の麓、鶺鴒舟が浮かぶ長良川のほとり世界イベント村の一角)
 主 催 情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会
 共 催 電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ パターン認識・メディア理解研究専門委員会
 協 賛 映像情報メディア学会 映像情報システム研究委員会, 計測自動制御学会 パターン計測部会,
 電気学会 マシンビジョン活用技術調査専門委員会
 後 援 岐阜コンベンションビューロー

応募方法 日本語あるいは英語で書かれた A4 判 6 頁 (図面も含む) の論文 (無記名, 2 段組, 研究会フォーマット準拠) 3 部に, A4 判 1 枚の発表申込書 (発表題目, 発表者氏名, 所属, 5 個程度のキーワード, 連絡先の氏名, 所属, 〒, 住所, Tel, Fax, e-mail) を添え, 下記申込先までお申込みください。
 実行委員会において審査を行い, 採否を決定いたします。

応募締切 平成 10 年 1 月 17 日 (土)

申込先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 e-mail: sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

研究会先 MIRU'98 係 (池内克史, 佐藤洋一, 影沢政隆, 元木恵子)
 〒106 東京都港区六本木 7-22-1 東京大学生産技術研究所 電子情報系 (第 3 部) 視覚情報工学研究室
 e-mail: {ki,ysato,kagesawa,kmotoki}@iis.u-tokyo.ac.jp Tel(03)3402-6231(ext. 2324) Fax(03)3401-1433

詳細については 9 月号本欄または <http://www.cvl.iis.u-tokyo.ac.jp/miru/MIRU98-j.html> をご覧ください。

情報処理学会第 56 回全国大会の案内 (1)

標記大会は来る平成 10 年 3 月 17 日 (火) ~ 19 日 (木) に中央大学理工学部 (都内文京区) にて開催の予定です。
 大会スローガンが以下の通り決まりました。

「日本の情報技術—世界のリーダーを目指して」

現在, 講演発表申込を受付中です (締切 12 月 5 日 (金))

詳細は学会誌 9 月号または学会ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp>) をご覧ください。

(社) 情報処理学会 事業係
 〒108 都内港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 e-mail: jigyo@ipsj.or.jp

情報処理学会論文誌

「マルチメディア通信と分散処理」特集への論文投稿のご案内

論文誌編集委員会

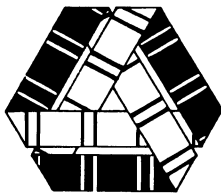
情報処理学会の論文誌において、下記の要領で「マルチメディア通信と分散処理」をテーマに特集号を企画しております。通信ネットワークを中心として、高速通信、プロトコル、インターネットとその応用、マルチメディア通信、分散協調処理、グループウェア、マルチエージェント等に関する論文の特集号であります。当学会のマルチメディア通信と分散処理に関連した研究会、シンポジウム、ワークショップ、国際会議等で発表された方々、およびこれに関連した研究開発者の方々に対して、広く論文を募集いたしますので、奮ってご投稿下さいませようにご案内いたします。

なお今回は、論文誌編集の新しい制度である「ゲストエディタ制度」を用い、この分野の一人者である滝沢 誠氏をゲストエディタに迎えます。

投 稿 要 領

- 論文の執筆要領 「情報処理論文誌」原稿執筆案内によります。論文投稿規約は「情報処理」1997年6月号に掲載されています。
- 査読手続き 通常の論文誌投稿論文と同一です。
- 投稿締切 1998年5月1日(金)
投稿論文には、「マルチメディア通信と分散処理」特集と朱書して下さい。
- 特集号予定 1999年初頭

会議案内



○：本会主催・共催 ◆：本会協賛・後援

- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 開催日 | 2. 会場 | 3. 照会先 | 4. その他 |
|--------|-------|--------|--------|

【国内会議】

- ◆日本神経回路学会第8回全国大会
1. 平成9年11月5日(水)～7日(金) 2. 金沢工大(金沢市) 3. 吉澤(東大) Tel(03)3812-2111(ext.6332) Fax5802-2957
- ◆第18回全日本マイクロマウス大会
1. 平成9年11月22日(土)～24日(月) 2. 大田区産業プラザ(都内大田区) 3. (財)ニューテクノロジー振興財団
Tel(03)3504-1323 Fax3504-1310
- ◆97 センシング技術応用セミナー「パターン認識とセキュリティ」
1. 平成9年12月4日(木) 2. 千里ライフサイエンスセンター(豊中市) 3. センシング技術応用研究会
Tel(0725)51-2527 Tel(03)3423-1621Fax3423-1680
- ◆第240回講習会交流セミナー「先達に訊くー製品開発者に求められるものー」
1. 平成9年12月5日(金) 2. 中野サンプラザ(都内中野区) 3. (社)精密工学会 Tel(03)3362-1979 Fax3367-0994
- ◆平成9年度第1回ORセミナー「多変量解析の基礎と応用」
1. 平成9年12月11日(木) 2. 東京ガス本社(都内港区) 3. (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会
Tel(03)3815-3351 Fax3815-3352

情報処理学会「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

申 込 者

A: 会員/非会員	(1) 会員	(2) 学生会員	(3) 賛助会員	(4) 購読員	(5) 非会員
B: 会員 No.			C: ご氏名		
D: 勤務先			E: ご所属		
F: ご住所	〒				
G: TEL			H: Fax		
I: e-mail					

送本先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと

：照会先/送本先

「購入希望書籍」リスト

書籍名/コード名	希望部数(冊)	単価(円)	金額(円)
K-1-(a):	K-1-(b):	K-1-(c):	K-1--(d):
K-2-(a):	K-2-(b):	K-2-(c):	K-2--(d):
K-3-(a):	K-3-(b):	K-3-(c):	K-3--(d):
K-4-(a):	K-4-(b):	K-4-(c):	K-4--(d):
K-5-(a):	K-5-(b):	K-5-(c):	K-5--(d):
K-6-(a):	K-6-(b):	K-6-(c):	K-6--(d):

M: 支払方法	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) * (2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) * (3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) * (4) 現金持参 (5) 現金書留 [名義人はいずれも(社)情報処理学会] * : 送金日が分かる場合、記入のこと
---------	--

N: 送金名義人

O-1: 請求書 通 O-2: 見積書 通 O-3: 納品書 通

P: 請求書記載名義

Q: 送金に関する照会先

申込先 (社) 情報処理学会 図書係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

e-mail: tosho@ipsj.or.jp Tel (03) 5484-3535 Fax (03) 5484-3534

<http://www.ipsj.or.jp/tosho.html> からもお申し込みいただけます。

*e-mail での申込み: 各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと。

[例] A: (1), B: 999999, C: 情報太郎, ... K-1-(a): 情報処理 Vol.38 No.3, K-1-(b): 1, K-1-(c): 1600, K-1-(d): 1600, M: (1) (1月31日送金予定), N: 情報太郎, O-1: 1, O-2: 1, O-3: 1, P: (株)××電気, ...

有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書（論文募集，参加案内等）の会告欄掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします．なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です．

記

1. 掲載条件

件 名	内 容	掲載単位	掲 載 料 金（消費税別）
論文募集 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワーク ショップ，講演会，講習会等の論 文募集・参加者募集に限る．	1 ページ または 1 / 2 ページ	(共催) 1 ページ 50,000 円 1 / 2 ページ 30,000 円
			(協賛・後援) 1 ページ 100,000 円 1 / 2 ページ 50,000 円
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機 関，賛助会員の人材募集	10 行程度	(国公立教育機関，国公立研究機関) 20,000 円 (賛助会員（企業）) 30,000 円

2. 申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先等を記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください．

*なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．

3. 原稿の書き方

行事次第書：原則として B5 判カメラレディとします．B5 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください．なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシック等）については，本会会告記載内容をご参照願います．なお，フロッピディスクまたは e-mail でも受け付けますので，ご相談ください．

人 材 募 集：求人側の必要事項を明記し，e-mail または FAX，郵送にてお送りください．

4. 申込期限

毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します．

5. 掲載料金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月末までにお支払いください．

6. 掲載申込先

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

(社) 情報処理学会 有料会告係

e-mail:editj@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

会員の皆様へのお知らせ・お願い

[新入会員勧誘のお願い]

本学会に入会ご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

「入会申込書」は学会誌奇数号巻末に、「入会のおすすめ」は学会誌3, 9月号巻末に掲載しております。

また、最新の活動内容をご案内しているWWWのホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) からの入会申込みも可能となりましたので、ご利用ください。

関連学会の電気・電子情報通信・照明・映像情報メディア各学会会員の方が入会をご希望の場合、在会証明書を入会申込書に添付されますと入会金が免除になります。

[会費および論文誌購読費の口座自動振替納入のご利用について]

平成10年度会費・購読費の納入には、手続きが簡単で便利な預金口座自動振替をおすすめします。

個人会員（一括扱いを除く）の方は、銀行または郵便局の口座をご登録いただければ、会費および論文誌購読費を毎年3月（または7月）27日（土日、祝祭日の場合は翌営業日）にご指定の口座から自動振替により納入することができます。自動振替を希望される会員の方は、下記申込方法をご参照のうえ11月28日（金）までにお申送ください。

申込方法

(1) 銀行口座登録の場合

「預金口座振替依頼書」(Vol.38, No.9 会告 p36 掲載) にご記入、ご捺印のうえ照会先へご郵送下さい。

(2) 郵便口座登録の場合

お近くの郵便局に通帳、印鑑をご持参いただき郵便局備付けの「自動振込利用申込書」に必要事項（下記参照）をご記入のうえ窓口へ提出してください。

[必要事項]

振込先口座番号：00150 - 4 - 83484

振込先加入者名：社団法人 情報処理学会

振込開始月：平成10年3月（または7月）

払込日：27日

払込金の種類：会費 33

料金等支払人：会員の住所、氏名、電話番号（口座名義人と同一の場合省略可）

備考：会員番号

[会員登録データの変更連絡について]

会員登録データ（含む機関誌等送付先）に変更が生じた場合には「変更連絡届」（偶数月号巻末掲載）に変更内容をご記入の上速やかに事務局会員係までご連絡ください（e-mail, Fax 可）。

機関誌、事務局発送物等が転居先不明、転送期間経過等の理由で事務局に返送された場合には、既登録会員データによりお問い合わせしておりますが、連絡がとれずに返戻、滞納、除名扱いとなってしまう場合がございます。お近くに最近機関誌等が届かないという方がおられましたら早急に下記照会先までご連絡くださいますようお願いください。

また、会員の皆様へのお問合せ等は、主にe-mailを利用することが多くなりましたので、e-mail アドレスの登録にご協力ください。

なお、会員資格は自動継続になっております。退会を希望される会員の方はその旨を上記用紙にご記入いただきご連絡ください（e-mail, Fax 可）。事務局へのご連絡の際には必ず会員番号と氏名を明記願います。

[平成9年度会費および論文誌購読費の納入について]

本年度の会費・購読費未納の方の納入につきまして、前月号でお知らせをし、みなさまにご協力いただきましたが、まだ未納の方が多数おられますので11月中旬に再度、振替用紙を発送いたします。

会費未納の方はすでに学会誌・論文誌の発送を9月号から停止しております。お近くにご送金済の方で機関誌が届かないという方がおられましたら、下記照会先までご連絡くださいますようお願いください。

照会/申込先 社団法人 情報処理学会 会員係
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
e-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

海外からの送金方法について

海外からの会費，論文誌購読費，各種行事参加費，各種図書購入費等については，クレジットカードによる送金をおすすめいたします。下記用紙にご記入の上ご郵送ください。(FAX 不可)

If you wish to pay with your credit card, please fill in the following form and mail it back to the Information Processing Society of Japan.

To: INFORMATION PROCESSING SOCIETY OF JAPAN
Shibaura-Maekawa Bldg.7F, 3-16-20, Shibaura, Minato-ku Tokyo 108, JAPAN
Tel.:81-3-5484-3535 Fax.:81-3-5484-3534 e-mail:mem@ipsj.or.jp

I wish to pay with my credit card.

Check one: MasterCard VISA American Express Diners Club

(1) Card number _____

(2) Expiry date _____/_____

(3) Full name of holder as it appears on the card _____

(Membership Number No. _____)

(4) Amount _____ Yen

(5) Detail (annual fees, Journal, etc.)

(6) Mailing address

(City) _____ (Postal Code) _____ (Country) _____
Tel. _____ Fax. _____
e-mail _____

Date _____/_____/_____

Signature _____

円またはドルの銀行小切手による送金の場合は，次の点にご注意願います。

1. 銀行小切手作成の手間がかかり，1,500 ～ 2,500 円の換金手数料が必要になる。
2. ドル送金の場合は為替相場の変動により，常に過不足を生じ，経理上支障がある。

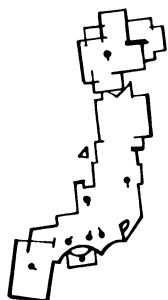
Note: The fees can also be paid by cash or by bank draft. In the case of bank draft, please add the handling charge of ¥1,500 to the total amount. We cannot accept personal check.

Remit to : Information Processing Society of Japan

Bank account no.046 - 1013945

Toranomon Branch, The DAI-ICHI-KANGYO BANK, LTD.

支部だより



情報処理学会支部連絡先

北海道支部 〒060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内
e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6819 Fax(011)706-6819

東北支部 〒982 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1 東北工業大学通信工学科内
e-mail:mkojima@titan.tohtech.ac.jp Tel(022)229-1151(ext.368) Fax(022)228-0447

東海支部 〒460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内
e-mail:t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel(052)204-4517 Fax(052)204-4521

北陸支部 〒921 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1 金沢工業大学内
e-mail:abe@infor.kanazawa-it.ac.jp Tel(0762)94-6708 Fax(0762)94-6709

関西支部 〒530 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F (財)関西情報センター内
e-mail:infor-soci@kiis.or.jp Tel(06)346-2543 Fax(06)346-2443

中国支部 〒733 広島県広島市西区商工センター2-6-1 NTT コミュニケーションウェア(株)
中国支社事業推進担当内
e-mail:kamura@chugoku.nttcom.co.jp Tel(082)278-7902 Fax(082)501-0472

四国支部 〒790-77 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学工学部内
e-mail:yamada@cs.chime-u.ac.jp Tel(089)927-9963 Fax(089)927-9973

九州支部 〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル
NTT データ通信(株)九州支社総務担当内
e-mail:murakami@csce.kyushu-u.ac.jp Tel(092)475-5123 Fax(092)475-5185

*各支部の最新情報は <http://www.ipsj.or.jp> からリンクしています。

北陸支部 講演会

日 時 平成10年1月23日(金) 13:30~15:30
会 場 金沢大学工学部秀峯会館(石川県金沢市小立野2-40-20)
演 題 「干渉合成開口レーダと地球科学」
講 師 国土地理院測地部 飛田幹男氏
参加費 無料(参加資格は問いません)
会 先 〒921 石川県金沢市小立野2-40-20 金沢大学工学部電気情報工学科 Tel(076)234-4890(村本)
または〒921 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1 金沢工業大学人間情報経営系内
情報処理学会北陸支部事務局 Tel(076)294-6708(阿部)

四国支部 講演会

日 時 平成9年11月18日(火) 13:00~14:30
会 場 愛媛大学工学部4号館2階第19番講義室
演 題 乱数の発生と応用—並列乱数の発生と global maximum problem —
講 師 津田孝夫氏(広島市大情報科学部教授,京大名誉教授)
催 情報処理学会四国支部
会 先 松山市文京町3番 愛媛大学工学部情報工学科教授 天野 要
e-mail:amano@cs.chime-u.ac.jp Tel(089)927-9966 Fax(089)927-9761

九州支部 シンポジウム「ソフトウェアとデータベースの研究—知力大国への道—」参加募集

米国はゲーム以外の知的生産物市場を制覇したと豪語しているが、その知的生産物とはソフトウェアとデータベースであるといっても過言ではない。現在これら二つをテーマとして文部省科学研究費・重点領域研究が実施されている。本シンポジウムでは、両重点研究さらには来年度足が決定した知識発見の重点研究から主要研究者を迎えて、彼等の現状とわが国が将来進むべき道筋、さらにそれを可能にする具体的方策を御自身の専門分野の立場から論説して頂く。

日 時 平成10年1月13日(火) 10:00~17:20
会 場 九州大学大型計算機センター3階 多目的講習室
福岡市東区箱崎6-10-1(地下鉄箱崎九大前下車徒歩10分)

SCS 会場 シンポジウムの模様は、衛星回線を用いたスペースコラボレーションシステム(SCS)により、東北大・東大・名大・京大・阪大・北陸先端大・奈良先端大・鹿児島大・琉球大の各会場に中継します。各会場の所在地等については下記の URL を参照してください。

プログラム

10 : 00 ~ 10 : 10	支部長挨拶	松尾文碩 (九大)
10 : 10 ~ 10 : 50	データベースシステム開発の過去・現在の状況と今後の課題 ーなぜ米国ブランドばかりなのかー	牧之内顕文 (九大)
11 : 00 ~ 11 : 40	ソフトウェア研究開発と創造的人材の育成	牛島和夫 (九大)
11 : 40 ~ 12 : 20	データベースとメディア研究の新しい潮流	田中克己 (神戸大)
13 : 40 ~ 14 : 20	発見科学の構想と展開	有川節夫 (九大)
14 : 20 ~ 15 : 00	重点領域研究「ソフトウェア発展」の構想と計画	片山卓也 (北陸先端大)
15 : 20 ~ 16 : 00	情報流通革命および生産革命と情報学研究	上林弥彦 (京大)
16 : 00 ~ 16 : 40	いかにして我が国の計算機科学研究を推進するか	土居範久 (慶大)
16 : 40 ~ 17 : 20	総合討論	

司会・進行 岩間一雄 (京大・九大)

ローカルアレンジメント 天野浩文 (九大)

参加費 無料

照会/申込先 参加希望会場を明記して、Fax または e-mail で下記宛お申し込みください。(主会場、SCS 会場とも)
九州大学大型計算機センター 天野浩文 e-mail:hiro@cc.kyushu-u.ac.jp Fax(092)642-2294
URL: <http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/RD/ipsj.html>

○「さきがけ研究 21」研究報告会開催について

本年度に終了する研究の成果を報告します。参加費は無料です。詳細は下記にお問合せください。

日時/場所 東京地区：平成 9 年 12 月 11 日 (木) 科学技術振興事業団東京本部
大阪地区：平成 9 年 12 月 15 日 (月) 千里ライフサイエンスセンター
研究領域 「遺伝と変化」「知と構成」「場と反応」
照会先 〒332 埼玉県川口市本町 4-1-8 川口センタービル 科学技術振興事業団 個人研究推進室 (金子, 所)
e-mail:kaneko@jst.go.jp, tokoro@jst.go.jp Tel(048)226-5641 Fax(048)226-2144

○平成 10 年度東北大学電気通信研究所共同プロジェクト研究の募集について

「時・距離・言葉の壁を超えるバリアフリー通信に関する基礎研究」をメインテーマに、下記のサブテーマに関する研究プロジェクトを公募します。申請書提出期限は平成 9 年 12 月 26 日 (金) 必着です。詳細は下記にお問合せください。

テーマ (1) 脳機能に匹敵するコンピューティング及びヒューマンインターフェイスに関する研究
(2) 情報を高速高密度で伝送及び処理するための方式及び基礎技術に関する研究
(3) 情報を制御及び保存するための新機能材料、新微細加工プロセス、新デバイスなどに関する研究
照会先 〒980-77 仙台市青葉区片平 2-1-1 東北大学電気通信研究所 総務課共同利用掛
e-mail:crpp@riec.tohoku.ac.jp Tel(022)217-5422 Fax(022)217-5426 <http://www.riec.tohoku.ac.jp/nation-wide/index-j.html>

○第 3 回ニューテクノロジー振興財団懸賞論文の募集について

「文化としての遊びと科学技術」のテーマで、懸賞論文を募集しています (最優秀賞 300 万円)。応募規定など詳細は下記にお問合せください。なお、第 1, 2 回の入賞作品をホームページで公開しています。

応募締切 平成 10 年 1 月 16 日 (金)
照会先 〒105 東京都港区虎ノ門 1-1-3 磯村ビル 2F (財)ニューテクノロジー振興財団 事務局
e-mail:ntf@leo.bekkoame.or.jp Tel(03)3504-1323 Fax(03)3504-1310 <http://www.bekkoame.or.jp/ntf/>

【国内会議】 つづき**第165回 CBI 研究講演会「研究を支援する情報と計算基盤」**

1. 平成9年年12月22日(月) 2. 科学技術振興事業団(都内千代田区) 3. CBI研究会事務局 Tel(03)5491-5423
Fax5491-5462 e-mail:cbistaff@cbi.or.jp

◆「脳機能情報処理」及び「脳型コンピュータ・アーキテクチャ」ワークショップ

1. 平成10年1月22日(木)～23日(金) 2. 工業技術院つくば研究センター(つくば市)
3. (財)新機能素子研究開発協会

◆第5回超音波による非破壊評価シンポジウム

1. 平成10年1月27日(火)～28日(水) 2. 工学院大(都内新宿区) 3. (社)日本非破壊検査協会 Tel(03)5821-5105
Fax3863-6524 e-mail:gakujutsu@jsndi.or.jp

◆平成9年度第二期教育講座「問題解決型パソコンソフト活用法コース」

1. 平成10年2月13日(金), 20日(金), 27日(金), 3月6日(金) 2. 神奈川科学技術アカデミー(川崎市高津区)
3. (財)神奈川科学技術アカデミー Tel(044)819-2033 Fax819-2026 e-mail:kast-ed@net.ksp.or.jp

◆第3回日本計算工学会講演会

1. 平成10年5月26日(火)～28日(木) 2. 中大駿河台記念館(都内千代田区) 3. 事務局((株)アイシーエス企画内)
Tel(03)3263-6014 Fax3263-7077 jsces@ics-inc.co.jp

◆ロボティクス・メカトロニクス講演会

1. 平成10年6月26日(金)～28日(日) 2. 仙台市民会館 3. (社)日本機械学会 Tel(03)5360-3500 Fax5360-3508
e-mail:satoh@jsme.or.jp http://www.robotics.is.tohoku.ac.jp/robomec98/

◆第28回信頼性・安全性シンポジウム

1. 平成10年7月9日(木)～10日(金) 2. JAビル(都内千代田区) 3. (財)日本科学技術連盟 Tel(03)5379-1224
Fax3225-1814 e-mail:XLA03104@niftyserve.or.jp

【国際会議】**1998 Symposium on VLSI Technology**

1. 1998年6月8日(月)～11日(木) 2. ホノルル, ハワイ 3. (財)日本学会事務センター Tel(03)5814-5800
Fax5814-5823

1998 Symposium on VLSI Circuits

1. 1998年6月10日(水)～13日(土) 2. ホノルル, ハワイ 3. (財)日本学会事務センター Tel(03)5814-5800
Fax5814-5823

The 10th International IFIP TC5 WG5.2-5.3 Conference The Globalization of Manufacturing in the Digital communications Era of the 21st Century: Innovation, Agility and The virtual enterprise (PROLAMAT'98)

1. 1998年9月9日(水)～11日(金) 2. イタリア, トレント 3. 木村(東大) Tel(03)3812-2111(ext.6455)
Fax3812-8849 e-mail:kimura@cim.pe.u-tokyo.ac.jp

▶ 11th International Teletraffic Congress Specialists Seminar

1. 1998年10月27日(火)～29日(木) 2. 横浜シンポジア(横浜市西区) 3. 川島(NTT-AT内) Tel(0422)36-5060
Fax37-8118 e-mail:shima@annex.ntt-at.co.jp

▶ 11th International Conference of Women Engineers & Scientists(ICWES11)

1. 1999年7月24日(土)～27日(火) 2. 幕張メッセ(千葉市) 3. 都河(東大) Tel(03)3812-2111(ext.7630)
Fax3812-2413 e-mail:tsugawa@adm.s.u-tokyo.ac.jp

▶ 第14回トロンプロジェクト国際シンポジウム

1. 1997年12月3日(水)～6日(土) 2. TEPIA(都内港区) 3. (社)トロン協会 Tel(03)3454-3191 Fax3454-3224

人材募集



●神奈川大学工学部（情報処理教室）

募集人員 教授，助教授または専任講師 1 名
専門分野 情報処理
担当科目 情報処理 I・II（全学部の共通基礎科目），情報処理演習 I（工学部の基礎科目）
応募資格 (1) 教育に熱意をもち，専門分野における業績があり，博士の学位（またはこれに相当する資格や業績）を有する方，(2) 全学共通の情報処理教育に関する企画，運営などについて提案を行う能力および意欲があり，本学情報処理センター所長の要請に応じて協力を行う方，(3) とくに UNIX，Windows-NT およびコンピュータ・ネットワークシステムとそれらのソフトウェア活用の実績がある方，(4) 平成 10 年 4 月 1 日より本学に専任として就任し得る方
着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書，研究（またはこれに相当する）業績目録，主要論文（またはこれに相当する業績）別刷（コピー可），情報処理に関する教育・研究についての実績と今後の抱負（1000 字程度）および大学における情報処理センターの管理・運営のあり方について（1000 字程度）各 1 部 *提出書類のリスト添付のこと
応募締切 平成 9 年 11 月 29 日（必着）
送付先 〒221 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1 神奈川大学（学務課気付） 工学部長 松村 晃
 Tel(045)481-5661（代） 「情報処理」教員応募書類と朱書き書留
照会先 e-mail:terao@tera730.b6.kanagawa-u.ac.jp
その他 選考の段階で面談，健康診断書の提出をいただく場合があります。待遇：本学規程による

●静岡大学工学部電気・電子工学科

募集人員 助教授（または講師），助手各 1 名
所属 情報処理システム講座
専門分野 コンピュータ（アーキテクチャ，データベースなど），ソフトウェア工学，通信（ネットワークなど），医用電子工学など情報・システム分野
担当科目 助教授：電子計算機工学，プログラミング，情報理論など情報処理関連の科目と電子回路
 助手：学生実験および演習
応募資格 上記の情報処理・システム分野の教育と研究に熱意のある計算機に堪能で（助手については入試情報処理の仕事が担当できる方）博士の学位を有し（助手の場合は取得見込みを含む），着任時の年齢が 40 歳以下の方
着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
提出書類 履歴書（写真貼付），研究業績（著書，論文，研究発表など）の目録，主要論文別刷（コピー可），推薦書（本人についての所見を求め得る方 2 名の氏名と連絡先），これまでの研究内容と着任後の教育・研究についての抱負（A4 用紙 1～2 枚），希望職種（助教授または助手）
応募締切 平成 9 年 12 月 1 日（必着）
送付先／照会先 〒432 静岡県浜松市城北 3-5-1 静岡大学工学部電気・電子工学科
 助教授・講師選考委員長 篠原茂信 e-mail:tdsshin@eng.shizuoka.ac.jp Tel/Fax(053)478-1109
 助手選考委員長 下平美文 e-mail:shimodaira@eng.shizuoka.ac.jp Tel/Fax(053)478-1117
 「応募書類在中」と朱書き書留 *各希望職種に対応した上記各選考委員長宛に郵送
<http://www.ipcs.shizuoka.ac.jp/teyshim/koubo.html>

●九州芸術工科大学芸術工学部共通講座

募集人員 (留学生担当) 講師 1 名
 専門分野 情報工学
 応募資格 情報工学の分野において業績を有し留学生の教育が担当できる方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日 (予定)
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (コピー可), 研究業績概要および研究に対する将来の抱負 (2000 字程度), 推薦書 (推薦者がある場合)
 応募締切 平成 9 年 12 月 12 日
 送付先/照会先 〒 815 福岡県福岡市南区塩原 4-9-1 九州芸術工科大学芸術情報設計学科 教授 鈴木俊行
 e-mail:suzuki@kyushu-id.ac.jp Tel(092)553-4548

●共栄学園短期大学

募集人員 教授または助教または専任講師 1 名
 所 属 基礎教養課程
 担当分野 情報科学, 情報処理関連の授業を担当できる方
 応募資格 博士の学位を有し (取得見込みを含む), 教育および学生指導に理解と熱意をもつ方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日 (応相談)
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト (様式指定), 主要研究業績 (著書または論文) 5 編以上
 応募締切 平成 9 年 12 月 15 日
 送付先/照会先 〒 344 埼玉県春日部市内牧 4158 共栄学園短期大学基礎教養課程 主任 梶尾義昭
 Tel(048)761-5801 Fax(048)761-0569

●尚美学園短期大学

募集人員 教授若干名
 専門分野 映像もしくは画像, マルチメディアなど
 応募資格 大学院博士課程修了またはこれと同等以上の業績を有し, 4 年制大学でも教育可能な方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書・教育研究業績書ほか, 研究業績のうち代表的な著書または論文別刷, 応募者の研究業績などについて問合せのできる方 2 名の氏名および連絡先, 着任後の研究計画と教育に対する抱負をまとめたもの
 応募締切 平成 9 年 12 月 15 日
 送付先/照会先 〒 113 東京都文京区本郷 4-15-9 学校法人尚美学園法人本部総務部 担当 西岡
 e-mail:musa1001@shobi.ac.jp Tel(03)3816-6731 Fax(03)3812-4757
 そ の 他 所在地は埼玉県川越市下松原 655

●新潟国際情報大学情報文化学部情報システム学科

募集人員 教授, 助教または講師 1 名
 専門分野 マルチメディア情報処理, 情報通信ネットワーク, システム論
 応募資格 上記の専門分野のいずれかに研究業績があり, 情報処理, コンピュータ応用の経験をもつ方, 上記の各分野の講義科目および演習を担当できる方で, 採用後は本学に通勤可能な地区に居住できる方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 研究業績, 主要な著書または論文別刷 5 点, 情報処理関連の教育研究歴または職務歴, そのほか社会的活動など, 選考の参考になると思われる資料
 応募締切 平成 9 年 12 月 15 日
 送付先/照会先 〒 950-22 新潟県新潟市坂田字カタハタ 46-1 新潟国際情報大学情報文化学部 学部長 浦 昭二
 Tel(025)239-3111 Fax(025)239-3690 「応募書類在中」と朱書き書留

●明星大学情報関係

募集人員 教授または助教授 1 名, 助手 1 名 (助手任期 3 年)
 専門分野 情報システム
 応募資格 博士あるいはそれに同等の業績を有する方
 着任予定 平成 10 年 4 月 1 日 (予定)
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 論文別刷
 応募締切 平成 10 年 12 月 15 日
 送付先/照会先 〒 198 東京都青梅市長淵 2-590 明星大学情報学部経営情報学科 越智利夫
 e-mail:ochi@mi.meisei-u.ac.jp Tel(0428)25-5111

●山形大学総合情報処理センター

募集人員 ネットワーク部門担当 助教授 1 名
 専門分野 計算機ネットワーク, 教育・研究のほか, 大学全体のネットワークの維持, 管理, 環境整備など
 応募資格 専門分野の研究業績があり, 教育・研究・システム管理に熱意のある方. 博士の学位を所有することを原則とする. 職務の期間は 3 ~ 5 年とする
 着任予定 決定後のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書 (学会・社会活動を含む), 教育・研究上の業績一覧 (数行の概要つき), 主要論文別刷 (コピー可), これまでの教育研究の概要および総合情報処理センター教員としての展望, 方針 (1000 字以内), 推薦書 1 通およびほかに本人に関する所見を求め得る方の氏名と連絡先
 応募締切 平成 10 年 1 月 15 日
 送付先/照会先 〒 990 山形県山形市小白川 1-4-12 山形大学総合情報処理センター センター長 鬼武一夫
 e-mail:director@kj.yamagata-u.ac.jp Tel(0236)28-4500 Fax(0236)28-4510

●山口大学教育学部表現情報処理教室

募集人員 助教授または講師 1 名
 専門分野 情報工学または情報科学
 担当科目 電子計算機概論, 情報処理論, データベース, 計算機言語, 情報科学, 情報システム論などの情報関連科目のうちから数科目, および共通教育科目 (情報処理)
 応募資格 大学院修士課程修了以上で (博士の学位を有することが望ましい) 着任時の年齢が 34 歳以下の方, 計算機ネットワークのシステム管理ができる方が望ましい (将来は必ずやっていただく)
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書 (市販の JIS 規格のもの), 研究業績一覧および論文 (別刷およびコピー可), これまでの研究履歴, 所属学会なども記入すること
 応募締切 平成 10 年 1 月 16 日 (必着)
 送付先 〒 753 山口県山口市大字吉田 1677-1 山口大学教育学部 学部長 金田道和
 「教官応募 (表現情報) 関係書類在中」と朱書き書留
 照会先 教育学部表現情報処理教室 主任 池上 敏
 e-mail:ikegami@inf.edu.yamaguchi-u.ac.jp Tel/Fax(0839)33-5361
 その他 採用後は山口市, またはその近辺の通勤可能な地域に居住できる方

●茨城大学理学部数理科学科

- 募集人員 助教授または助手 1 名
 所 属 情報数理学講座
 専門分野 情報数理学 (研究分野はとくに問わないがコンピュータを用いた数理科学)
 応募資格 情報教育に熱意のある方で、助教授：博士の学位を有し、当該専門分野において研究業績があり、さらに大学院 (前期および後期課程) において研究指導のできる方、助手：博士の学位を有するか、またはこれと同等の研究業績を有し、さらに大学院において研究指導補助のできる方
 着任時期 平成 10 年 3 月 10 日頃
 提出書類 履歴書・研究業績一覧表 (すべての論文および著書)、主要論文別刷 (コピー可) (ただし最近 5 年以内の論文はすべて提出してください (各 1 部)), これまでの研究概要と今後の研究計画および情報教育への抱負を明記したもの (A4 判 3 枚程度)、推薦書 2 通もしくは応募者の業績について問い合わせできる方 2 名の氏名と連絡先 (所属, 住所, Tel., Fax.), 希望するポスト (助教授または助手) を明記のこと
 応募締切 平成 10 年 1 月 20 日
 送 付 先 〒 310 茨城県水戸市文京 2-1-1 茨城大学理学部数理科学科 学科長 小野瀬宏
 「応募書類」と朱書き書留
 照 会 先 数理科学科 大西和榮 Tel(029)228-8339 Fax(029)228-8408
 そ の 他 (1) 必要に応じて面談を行います, (2) 教養教育も担当していただきます, (3) 提出書類はお返しします, (4) 適任者がいない場合には、決定を留保することがあります

●広島大学工学部第二類 (電気系) 回路・システム大講座

- 募集人員 教授 1 名, 助教授 1 名
 所 属 教授：ソフトウェア工学教育科目, 助教授：知能情報工学教育科目
 専門分野 教授：仕様記述・開発・保守, オペレーティングシステムと処理系 (並列・分散を含む), アプリケーションなどソフトウェア工学全般
 助教授：AI, プレイン, コンピュータ, デバイスなど知能と関連する情報工学
 担当科目 教授：言語とコンパイラ, オペレーティングシステム, アルゴリズムなど
 助教授：アーキテクチャ, 言語など計算機関連
 応募資格 教授：博士の学位を有し、大学院博士課程後期の指導ができる方
 助教授：博士の学位を有し、大学院の指導ができる方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書・研究業績リスト (研究論文, 速報, Letter 論文, 国際会議発表, 論文, 著書, 解説, 特許などに分ける), 論文別刷, 研究活動概要 (代表的な研究論文 5 編以内の概要と学会での評価), 学会活動概要 (所属学会名, 学会・国際会議でこれまでに就任の委員・役員などの役職名) (助教授は不要), 研究・教育の抱負 (1000 字程度), 推薦書または本人に関する所見を求め得る 2 名の方の氏名と連絡先
 応募締切 平成 10 年 1 月 20 日
 送付先/照会先 〒 739 広島県東広島市鏡山 1-4-1 広島大学工学部第二類 (電気系) 回路・システム大講座
 主任 山下英生 e-mail:yama@eml.hiroshima-u.ac.jp Tel(0824)24-7665

●琉球大学教育学部

募集人員 助手 1 名
 所属 技術教育教室
 担当科目 情報工学, 計算機工学を専門とし実験・実習を担当
 応募資格 博士の学位を有する (近い将来取得見込みを含む) 35 歳くらいまでの方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日
 提出書類 履歴書, 研究業績一覧, 著書, 論文別刷 (採択決定された論文については, その旨を証明する書面 (写) 添付のこと), 健康診断書 (国公立病院または保健所発行のもの), 卒業・修了証明書 (学部および大学院), 2 名の推薦書各 1 通
 応募締切 平成 10 年 1 月 20 日 (必着)
 送付先 〒 903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 琉球大学 教育学部長 平良 勉
 「教官 (技術教育) 応募書類在中」と朱書き書留 * 提出書類の返送先を明記した封筒を同封のこと
 照会先 技術教育教室 主任 新里祐宏 Tel(098)895-8392 (ダイヤルイン) Fax(098)895-4823

●茨城大学工学部メディア通信工学科

募集人員 教授 1 名, 助教授 (もしくは講師, 助手) 1 名
 専門分野 教授: 計算機ネットワーク, 生物情報システム, 画像情報処理のいずれか
 助教授 (もしくは講師, 助手): 光通信工学, 光情報処理, 光エレクトロニクスなど
 担当科目 教授: 画像工学, 電子計算機, 計算機ネットワーク, 生物情報工学など
 助教授, 講師: 情報処理, 画像処理 (光情報処理), 光通信工学など
 助手: 学生実験
 応募資格 教授: 博士後期課程を指導できる 50 歳前後の方
 助教授 (もしくは講師, 助手): 博士の学位を有し, 相応の研究業績を有する方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日以降
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (コピー可), これまでの研究の概要の説明 (様式自由), 今後の教育・研究に対する抱負 (1000 字程度)
 応募締切 平成 10 年 3 月 31 日 (応募状況により, これより以前に締め切る場合があります)
 送付先/照会先 〒 316 茨城県日立市中成沢町 4-12-1 茨城大学工学部メディア通信工学科 学科長 藤井寛一
 e-mail:kfujii@dmt.ibaraki.ac.jp Tel(0294)38-5092 (ダイヤルイン) Fax(0294)32-3237
 「教官応募書類」と朱書き書留

55 回全国大会講演論文集 CD-ROM 版のお詫び

事業担当理事: 村上憲也, 剣重壽和

この度, みなさまにご購入いただきました CD-ROM の内, 内容の異なる CD-ROM が混入しました. 誠に申し訳ございません. 製造の切り替え時に発生したもので今回 2,400 枚発行した内, 最大 77 枚存在する可能性があります.

誠に申し訳ございませんが, もし違う CD-ROM が入ってございましたら下記照会先へご連絡いただき, 正しい CD-ROM をご請求くださいますようお願い申し上げます.

なお, 正しい CD-ROM はディスク内側に IPSJ9709A と刻印してあります.

照会先 (株) シーティエス大日本 CDメディア室 担当: 市川
 東京都豊島区高田 1-18-22
 Tel(03)5396-4880 Fax(03)5396-7131